

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
第4章 人権施策の方向性									
1 基本姿勢									
人権尊重の視点に立った市政の推進	長野市情報公開条例	市政運営における透明性の向上と、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正で開かれた市政の発展に寄与することを目的に原則公開を旨としているが、個人に関する情報及び個人の権利利益を害するおそれがあるものについては非公開とし、権利を保護する。	情報公開実施状況 ・請求件数 1,758件 ・公開 479件 ・部分公開 1,148件 ・非公開 56件 ・不存在 74件 ・存否応答拒否 1件	窓口における請求の受付及び来庁者からの相談等に、適切に対応することで、市政運営における透明性の向上を図る。	1,010	978	庶務課		1
	長野市個人情報保護条例	市の機関が保有する個人情報の開示、訂正、抹消及び利用又は提供の中止を求める権利を保障することにより、公正で信頼される市政の推進を図り、もって個人の権利利益を保護する。	個人情報開示請求運用状況 ・開示請求 229件 ・全部開示 157件 ・部分開示 61件 ・非開示 0件 ・不存在 9件 ・存否応答拒否 0件 ・取下げ 2件	窓口における請求の受付及び来庁者からの相談等に、適切に対応することで、公正で信頼される市政の推進を図り、もって個人の権利利益を保護する。	310	309	庶務課		2
	防災計画等作成	地域防災計画を策定する中で、要配慮者(高齢者・障害者・児童・傷病者・外国籍住民・外国人旅行者・乳幼児・妊産婦など災害対応力の弱い者)を守るための防災対策を計画、実施する。	浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設で、長野市地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設については、避難確保計画の作成、避難訓練の実施等が義務付けとなったため、庁内打合せ会議を実施し、関係各課に早期作成を促すよう周知した。	浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設で、長野市地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設については、避難確保計画を早期に作成するよう関係各課へ周知する。	21,628	29,775	危機管理防災課		3
	災害応急対策	災害時に備え、緊急資機材・食料などの備蓄品強化と避難所設備の強化を図る中で、要配慮者に配慮した備蓄を行う。	水、食料、生活必需品や災害対応資機材のストック拡大と更新を進め、公的備蓄の充実を進めるとともに、要配慮者に配慮した簡易組立トイレ(11基)や非常食(レトルト3,700食)の備蓄を行った。	水、食料、生活必需品や災害対応資機材のストック拡大と更新を進め、公的備蓄の充実を進めるとともに、要配慮者に配慮した備蓄を行う。	117,246	89,433	危機管理防災課		4
	特別豪雪地帯等住宅除雪支援	特別豪雪地帯(鬼無里・戸隠地区)に居住する高齢者・母子・障害者及び生活保護法に定める保護世帯のうち、自己の資力及び労力で雪下ろしを行うことが困難な世帯を対象に、積雪により家屋が倒壊する恐れがある場合に、屋根の除雪を行う住宅除雪支援員を派遣する。	登録世帯:226世帯、住宅除雪支援員:123人登録、派遣世帯:30世帯、延派遣日数124日、延派遣時間105.5時間、支払額:171,398円	特別豪雪地帯住宅除雪支援 延派遣時間575時間 中山間地域雪下ろし補助 10回 ※平成31年度(令和元年度)から特別豪雪地帯住宅除雪支援と中山間地域雪下ろし補助を統合	952	1,017	危機管理防災課		5
	中山間地域雪下ろし補助事業	中山間地域(戸隠・鬼無里を除く)に居住する高齢者・母子・障害者及び生活保護法に定める保護世帯のうち、自己の資力及び労力で雪下ろしを行うことが困難な世帯を対象に、積雪により家屋が倒壊する恐れがある場合に、屋根の雪下ろしを事業者に委託した費用の一部を補助する。	1世帯、2件、6,700円	当事業の他に類似する事業として、特別豪雪地帯住宅除雪支援事業があり、いずれの事業も積雪による家屋倒壊及び雪下ろし中の事故の防止を目的としていることから、両事業を統合し、中山間地域の雪下ろしを総合的に支援していく。	325	0	危機管理防災課	事業統合	6
	市営住宅優先入居	要件該当者が、その優先区分を設定されて募集している住宅へ申し込みをした場合に、優先入居を行う。 (1)65歳以上の者、(2)障害者である者、(3)生活保護を受けている者、(4)20歳未満の子を扶養している寡婦等、(5)中国残留邦人等、(6)18歳未満の児童が3人以上いる者、(7)DV被害者、(8)犯罪被害者等、(9)その他	優先入居 募集戸数 14件 募集申込 59件 入居 10件 専用住宅 募集 10件 募集申込 8件 入居 4件	過去の募集状況を考慮して、募集団地に優先枠を設ける。	0	0	住宅課		7
	国補・住宅耐震改修事業補助	長野市耐震改修促進計画に基づき、既存木造住宅の所有者が行う住宅耐震改修工事費の一部(工事費の1/2以内、限度額100万円)を補助している。平成29年度から、低所得者(所得額200万円以下の者)を対象に上乗せ補助(工事費の1/10以内、限度額20万円)を行っている。	上乗せ補助件数 19件	上乗せ補助 200,000円×35件=7,000,000円	7,000	7,000	建築指導課 建築防災対策室		8
	老朽危険空き家解体事業補助	空き家の所有者が行う、老朽危険空き家の解体工事費の一部(工事費の1/2以内、限度額50万円)を補助している。低所得者(所得額200万円以下の者)を対象に上乗せ補助(工事費の1/10以内、限度額20万円)を行っている。	上乗せ補助件数 4件	上乗せ補助 200,000円×15件=3,000,000円	800	3,000	建築指導課 空き家対策室		9

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
2 人権教育・啓発									
(1)学校人権教育	学校人権教育振興補助金	学校における人権教育を振興するため、市立小学校及び中学校において行う人権教育の研究を促進し、実践力を高めるために要する経費に対し補助金を交付する。 小学校54校 中学校25校 計79校 1校あたり50,000円を交付。	・交付実績 市立小学校54校 確定額 2,654,907円 市立中学校25校 確定額 1,246,828円 計 79校 合計額 3,901,735円 ・補助対象経費 会議費、謝礼金(講師等)、図書費、消耗品費等	・交付実績 市立小学校54校 各校に50,000円を交付 市立中学校25校 各校に50,000円を交付 計 79校 合計3,950,000円を交付(予算額) ・補助対象経費 会議費、謝礼金(講師等)、図書費、消耗品費等	3,950	3,950	学校教育課		10
	学校人権教育補助教材給付	市内、小・中学校での人権教育・啓発を行うために必要な副読本に「あけぼの」を配備する。 平成29年度は小学校中学年用が改定のため、新規購入する。	・「あけぼの」配備数(汚損・不足分) 不足分の配備 小学校低学年用 193冊 小学校中学年用 165冊 小学校高学年用 126冊 中学校用 178冊	・「あけぼの」配備数(汚損・不足分) 不足分の配備 小学校低学年用 小学校中学年用 小学校高学年用 中学校用	365	337	学校教育課		11
	人権教育推進指定校	市立全小・中学校を研究指定校とし、研究授業等実践活動を行う。(指導主事の学校訪問等)研究実践報告書を編集し、学校人権同和教育の場において活用する。	・指導主事学校訪問数 52回 ・教育ネットワークポータルに研究実践報告書の掲載(研究実践成果の共有)	・指導主事学校訪問 ・教育ネットワークポータルに研究実践報告書の掲載(研究実践成果の共有)	40	34	学校教育課		12
	子ども人権教室活動推進	学校と地域の連携で、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすための人権学習活動(子ども人権教室の開催)と交流活動を広げるための行事を行う。 また、子ども人権教室参加児童生徒の作文集「きずな」を発行する。	・人権教室(2教室) 大豆島解放子ども会 会員数5人、小学生部会18回開催、中学生部会18回開催 若穂川田人権同和子ども会 会員数18人、小学生部会29回開催 ・合同行事 1回開催(12/25 町川田人権同和教育集会所にて2教室の交流会) ・作文集「きずな」の作成及び関係小中学校等への配布	・人権教室(2教室) 大豆島解放子ども会 会員数5人、小学生部会と中学生部会の開催 若穂川田人権同和子ども会 会員数17人、小学生部会の開催 ・合同行事の開催 ・作文集「きずな」の作成及び関係小中学校等への配布	846	851	学校教育課		13
	子ども人権教室活動推進補助金	児童及び生徒の人権意識の高揚を図るため、人権教育活動を行う団体(子ども人権教室等)に対して補助金を交付する。 会員(児童及び生徒)1人に当たり年額12,000円以内 会員5人以上で、年間50時間以上の人権教育に関する学習を実施。	・子ども人権教室活動推進補助金交付状況(2教室) 大豆島解放子ども会 60,000円 若穂川田人権同和子ども会 180,000円 ・補助対象経費 子ども会行事費、役員費、印刷費、図書費、教材費、会議費等	・子ども人権教室活動推進補助金交付状況(2教室) 大豆島解放子ども会 会員1人につき12,000円を交付 若穂川田人権同和子ども会 会員1人につき12,000円を交付 ・補助対象経費 子ども会行事費、役員費、印刷費、図書費、教材費、会議費等	300	324	学校教育課		14
(2)社会人権教育・啓発	公民館維持管理・学習活動	市立公民館において、人権尊重の意義や様々な人権問題について理解と認識を深めるため、人権教育研修の機会と内容の充実を図る。また、住民自治協議会人権同和教育啓発担当部署との連携を進める。	・企画公民館数:19館 ・事業数計:92事業 ・開催回数計:98回 ・延べ学習者数(主催+共催):3,151人	・企画公民館数:16館 ・事業数計:72事業 ・開催回数計:91回	338,458	371,505	家庭・地域学びの課		15
	人権教育指導員活動支援	住民自治協議会が設置する人権教育指導員の活動を支援する。 報酬1人年額38,000円×82名	・上半期 77名×19,000円=1,463,000円 ・下半期 77名×19,000円=1,463,000円	・上半期 82名×19,000円=1,558,000円 ・下半期 82名×19,000円=1,558,000円	3,116	3,116	人権・男女共同参画課		16
	人権教育指導員研修	人権教育指導員の養成と資質向上のため研修を行う。(外部講師謝礼等) 研修会:年間5回	・第1回研修会(5/15) 人権教育・啓発担当部署連絡会 活動内容・実施計画・年間研修計画について等 ・第2回研修会(7/9) 実践発表、分散会等 ・第3回研修会(9/18) 講演会等 演題:「男女共同参画ってどこまで進んでいるの」 (講師:松岡英子氏) ・第4回研修会(11/16) 講演会等 演題:「私が出会った大切な人たち」 (講師:野沢喜代氏) ・第5回研修会(1/24) 講演会等 演題:「外国人との共生を図るために」 (講師:横山ルッカス氏)	・第1回研修会(5/20) 人権教育・啓発担当部署連絡会 活動内容・実施計画・年間研修計画について等 ・第2回研修会(7/9) 実践発表、地域の研修の進め方についての分散会等 ・第3回研修会(9/18) 講演会等 演題:「同和問題について(仮称)」(講師:高橋典男氏) ・第4回研修会(11/20) 講演会等 演題:「LGBTの方の人権(仮称)」(講師:小泉涼氏) ・第5回研修会(1/23) 講演会等 演題:「障害者の人権について(仮称)」(講師:山崎順子氏)	120	120	人権・男女共同参画課		17
	人権講座	市民及び隣保館利用者等を対象に、様々な人権問題に関する学習機会を提供し、人権問題に対する理解の促進と、人権尊重意識の高揚を図る。	・中央隣保館(3/4) 演題:フルートを交えた人権講座 講師:上田女子短期大学講師 杉山由一氏	・人権講座開催(3月) 講師、演題は未定	40	40	人権・男女共同参画課		18

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(3)隣保館等における啓発	隣保館管理運営	隣保館4館の管理運営を行う。 (中央、大豆島、若穂、豊野)	・隣保館4館の管理運営を実施。 (中央、大豆島、若穂、豊野)	・隣保館4館の管理運営を実施。 (中央、大豆島、若穂、豊野)	29,393	29,329	人権・男女共同参画課		19
	隣保館だより発行	隣保館の活動、人権問題に関する情報等を掲載した隣保館だより(館報)を発行する。 大豆島、若穂、豊野隣保館	・大豆島隣保館だより(各4,500部ずつ) 122号(7月)、123号(10月)、124号(3月) ・若穂隣保館だより(各4,000部ずつ) 107号(8月)、108号(1月)、109号(3月) ・豊野隣保館だより(各3,300部ずつ) 26号(10月)、27号(3月)	・大豆島隣保館だより(各4,500部ずつ) 125号(7月)、126号(10月)、127号(3月) ・若穂隣保館だより(各4,000部ずつ) 110号(8月)、111号(1月)、112号(3月) ・豊野隣保館だより(各3,300部ずつ) 28号(10月)、29号(3月)	265	267	人権・男女共同参画課		20
	文化芸能祭・ふれあい交流フェスティバル	人権問題に関する講演会及び講座受講者、利用団体等の学習成果を発表し、住民相互の交流を促進する。 中央、大豆島、若穂、豊野隣保館	・中央隣保館 文化祭(11/4) ・大豆島隣保館 文化芸能祭(12/1) ・若穂隣保館 文化芸能祭(11/18) ・豊野隣保館 ふれあい交流フェスティバル(11/17)	・中央隣保館 文化祭(11/3) ・大豆島隣保館 文化芸能祭(11/30) ・若穂隣保館 文化芸能祭(11/17) ・豊野隣保館 ふれあい交流フェスティバル(11/16)	201	201	人権・男女共同参画課		21
	お茶のみサロン	お茶のみサロンを開催し、住民の交流促進と人権尊重意識の高揚を図る。(若穂隣保館)	・第36回お茶のみサロン(開催日:9/20 参加者:75人) ・第37回お茶のみサロン(開催日:1/26 参加者:40人)	・第38回お茶のみサロン(開催日:9/19) ・第39回お茶のみサロン(開催日:1/25)	36	36	人権・男女共同参画課		22
	各種学級講座	様々な学習機会を提供するとともに、学習活動を通して人権意識の高揚を図る。	・大豆島隣保館 料理教室(開催数:6回 参加者:51人) 革細工(開催数:6回 参加者:55人) ・若穂隣保館 保科誌(開催数:3回 参加者:47人) そば打ち(開催数:2回 参加者:13人) 健康体操(開催数:1回 参加者:27人) ・豊野隣保館 料理教室(開催数:20回 参加者:287人) そば打ち(開催数:3回 参加者:45人) 絵手紙(開催数:10回 参加者:49人) ハワイアンフラダンス(開催数:10回 参加者:64人) フラワーアレンジメント(開催数:5回 参加者:33人) 書道(開催数:10回 参加者:152人) 笑いヨガ(開催数:10回 参加者:47人)	・大豆島隣保館 料理講座(開催数:4回) 革細工(開催数:6回) おりがみ講座(開催数:3回) 生き生き講座(開催数:4回) ・若穂隣保館 保科誌(開催数:2回) そば打ち(開催数:2回) 健康体操(開催数:1回) ・豊野隣保館 料理教室(開催数:20回) そば打ち(開催数:3回) 絵手紙(開催数:10回) 歌体操とハワイアンフラ(開催数:10回) フラワーアレンジメント(開催数:7回) 書道(開催数:10回) 笑いヨガ(開催数:10回)	502	526	人権・男女共同参画課		23
(4)多様な手法による効果的な啓発	人権啓発ポスター・標語コンクール	人権啓発ポスター・標語のコンクールを開催し入賞者を表彰することにより、応募者の作品作成を通しての人権尊重意識の醸成を図る。また、優秀作品については、広報ながのやホームページで発表するとともに、市有施設やバス車内等に掲示し広く周知することによる啓発活動も行う。 啓発ポスター(600枚×1種、730枚×1種、740枚×1種)バス車内広告(約1ヶ月)	・応募状況 ポスター:334作品 標語:3,080作品 ・審査結果 ポスター 小・中学生の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、入選5名 一般の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、入選2名 標語 小・中学生の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、入選5名 一般の部:最優秀賞1名、優秀賞1名、入選5名	・ポスター及び標語募集期間:8/26~9/12 ポスターの表彰 小・中学生の部:最優秀賞、優秀賞、入選 一般の部:最優秀賞、優秀賞、入選 標語の表彰 小・中学生の部:最優秀賞、優秀賞、入選 一般の部:最優秀賞、優秀賞、入選	168	185	人権・男女共同参画課		24
	テレビ・ラジオ等広告	人権啓発スポットテレビ放送(TSBテレビ信州) 人権教育啓発ラジオ放送(SBC信越放送) FMぜんこうじ	・TSBテレビ:13回 ・FMぜんこうじ:3回(8/7、1/9、2/21) ・SBCラジオ:4回(3/7、3/14、3/21、3/28) ・バス車内広告:12/1~12/31	・TSBテレビ:13回 ・FMぜんこうじ:1~3月 ・SBCラジオ:3月(4回) ・バス車内広告:12月	1,390	1,415	人権・男女共同参画課		25
	企業人権教育推進協議会補助金	市内に事業所を有する企業で組織し、企業の人権教育推進に取り組む長野市企業人権教育推進協議会の運営及び活動を支援する。	・補助金交付 250,000円	・補助金交付 250,000円	250	250	人権・男女共同参画課		26
	人権教育啓発資料作成	研修会等で活用する啓発資料を作成する。 人権教育の手引き「みんなのねがい」1,500部 人権ながの12,000部 人権啓発だより 2,500部×年2回 長野市の人権教育 240部	・みんなのねがい:1,500部(125,145円) ・人権ながの:12,000部(104,976円) ・啓発ポスター:1460枚×2種(47,304円) ・長野市の人権教育:240部(74,131円)	・みんなのねがい:1,500部(178,200円) ・人権ながの:12,000部(116,640円) ・啓発ポスター:2050枚×3種(97,000円) ・長野市の人権教育:240部(81,840円)	472	473	人権・男女共同参画課		27
	人権を尊重し合う市民のつどい	市民の人権尊重意識の高揚を図ることを目的に講演会等を行う。	・第41回人権を尊重し合う市民のつどい(11/26) 場所:若里市民文化ホール 講師:江川紹子(ジャーナリスト) 演題:「今を生きるために大事なこと~自分の感性と想像力を大切にしよう~」 参加数:約400名	・長野県人権フェスティバル2019・第42回人権を尊重し合う市民のつどい(仮称)(12/15) 場所:長野市芸術館 長野県と共同で開催 講師、演題は未定 定員:600名	661	699	人権・男女共同参画課		28

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(5)特定職業従事者に対する研修	一般研修	各階層別に実施している研修のカリキュラムとして組み込む。 ・新規採用職員研修 ・主事・技師昇任研修	階層別研修等での組み込み ・新規採用職員研修 ・主事・技師昇任研修	各階層別に実施している研修のカリキュラムとして組み込む。 ・新規採用職員研修 ・主事・技師昇任研修	0	0	職員研修所		29
	人権職場研修	各職場における人権教育推進のリーダーとして、人権問題職場研修の在り方等について研究するとともに、所属部局(あるいは課)の人権問題に関する職場研修を実施し、指導推進していく人材の育成を図る。 ・長野市企業人権教育推進協議会への積極的参加	人権教育推進員を選任し、所属ごとに人権教育を行った。 企業人権教育推進協議会が開催する研修会に参加した。	各職場における人権教育推進のリーダーとして、人権問題職場研修の在り方等について研究するとともに、所属部局(あるいは課)の人権問題に関する職場研修を実施し、指導推進していく人材の育成を図る。 ・長野市企業人権教育推進協議会への積極的参加	0	0	職員研修所		30
(6)国・県・関係団体との連携・協働	長野市企業人権教育推進協議会への加盟	人権問題の解決のため、企業の社会的責任を自覚のもとに、会員相互が連携し人権教育を推進する協議会に加盟し、協議会事業に参加する。	長野市企業人権教育推進協議会に加盟し、協議会事業に参加した。	人権問題の解決のため、企業の社会的責任を自覚のもとに、会員相互が連携し人権教育を推進する協議会に加盟し、協議会事業に参加する。	8	8	職員研修所		31
(7)教育・啓発に関する情報提供	人権啓発ビデオ購入・貸出	住民自治協議会や企業が行う人権教育研修会の教材としてDVD及びビデオテープの購入、貸出を行う。	・貸出し本数 ビデオ(VHS)7本 DVD385本 ・購入本数 DVD7本	・購入予定本数 DVD7本	170	173	人権・男女共同参画課		32
	人権教育指導者養成	県内外で開催される各種大会、研究会等に参加し、新たな情報や知識の収集を行うとともに、住民自治協議会担当部署や人権教育指導員に情報提供を行う。 (職員等の研修旅費)	平成30年度町川田人権同和教育集会所運営委員視察研修9/15日当 長野市企業人権教育推進協議会一日研修講座出席旅費(9/7) 長野県19市人権同和政策担当課長会議及び第27回都市人権・同和教育事務連絡会の合同会議出席旅費 平成30年度第2回人権教育実践カススキルアップ講座出席 平成30年度人権啓発指導者養成研修会(東京会場)受講	令和元年度町川田人権同和教育集会所運営委員視察研修 長野市企業人権教育推進協議会一日研修講座出席旅費 長野県19市人権同和政策担当課長会議及び第28回都市人権・同和教育事務連絡会の合同会議出席旅費 令和元年度人権教育実践カススキルアップ講座 令和元年度 人権啓発指導者養成研修会(東京会場)	81	61	人権・男女共同参画課		33
3 人権相談・支援									
(1)総合相談体制の整備	精神保健福祉相談	精神に関する病気、こころの悩み、ひきこもりなどについて、精神科医・保健師が相談に応じる。	精神科医による相談:相談回数31回、相談件数87件 保健師による相談:訪問実人数794人 延べ人数1,248人 来所相談実人数820人 延べ人数1,383人 電話相談 延べ人数2,723人	精神科医による相談:毎月第2・3・4金曜日13:30~16:30 ※第3(金)は不定期開催 保健師による相談:訪問・面接・電話 保健所、各保健センターで随時実施	947	888	健康課		34
	心配ごと悩みごと相談室	常設型人権相談(電話・面接) 月・水・金曜の午後1時から5時 相談員3名の輪番制 長野市中央隣保館に設置 暮らしの中で生ずる人権問題の相談を行う。	・年143回開設 相談件数 149件 人権に関すること 8件 電話相談 98件、 面談 51件	・年142回開設 月・水・金曜の午後1時から5時	713	837	人権・男女共同参画課		35
(2)国・県、関係機関との連携	法律相談(弁護士)	金銭貸借・借地借家の契約、損害賠償の請求、交通事故の示談等民事全般及び多重債務に関する相談を弁護士が受ける。(要予約) 毎週火曜日、毎月第2・4水曜日 13:30~15:30 もんぜんぶら座4階市民相談室	74回開催 相談件数 627件 利用者数 764人(男性346人、女性418人) 弁護士への報酬支払額 3,439,800円 弁護士タクシー送迎料 34,360円 六法全書等購入費 33,700円	開催日:毎週火曜日、毎月第2・4水曜日 実施時間:午後1時30分から3時30分 受付時間:予約制につき受付不要 相談時間:20分間 予約:相談日前日の午前8時30分から電話で予約 対象:市民と長野地域連携中枢都市圏住民 相談料:無料 相談回数:同一案件につき1度、異なる案件は、3か月程度空ければ可 定員:先着 10人	3,659	3,660	市民窓口課		36
	登記相談(司法書士)	土地・家屋の登記、相続などの各種登記手続き及び多重債務に関する相談を司法書士が受ける。(要予約) 毎月第3木曜日 13:00~16:00 もんぜんぶら座4階市民相談室	10回開催 相談件数 69件 利用者数 93人(男性51人、女性42人) 長野県司法書士会への報償金支払額 30,000円	登記相談 日時:毎月第3木曜日、13時~16時 実施主体:長野県司法書士会長野支部 受付時間:予約制につき受付不要 相談時間:30分間 予約:相談日前日の午前8時30分から電話で予約 対象:市民と長野地域連携中枢都市圏住民 相談料:無料 定員:先着 12人	30	30	市民窓口課		37

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(2)国・県、関係 機関との連携	公証相談(公証人)	遺言・契約などの公正証書に関する相談を公証人が受ける。(要予約) 毎月第1木曜日、第3水曜日 13:00~16:00 もんぜんぶら座4階市民相談室	10回開催 相談件数 17件 利用者数 22人(男性6人女性16人) 長野公証役場への報償金支払額 60,000円	公証相談 日時:毎月第1木曜日と第3水曜日、13時~16時 実施主体:長野公証人合同役場 実施主体:長野県司法書士会長野支部 受付時間:予約制につき受付不要 相談時間:20分間 予約:相談日前日の午前8時30分から電話で予約 対象:市民と長野地域連携中枢都市圏住民 相談料:無料 定員:先着 8人	60	60	市民窓口課		38
	税務相談(税理士)	所得税・相続税・贈与税など各種税金に関する相談を税理士が受ける。(予約不要) 毎月第2・4木曜日 13:00~16:00 もんぜんぶら座4階市民相談室	24回開催 相談件数 203件 利用者数 237人(男性104人、女性133人) 関東信越税理士会への報償金支払額 30,000円	税務相談 日時:毎月第2、第4木曜日、13時~16時 実施主体:関東信越税理士会長野支部 対象:市民と長野地域連携中枢都市圏住民 受付時間:当日15時30分まで(予約不要) 相談料:無料	30	30	市民窓口課		39
	手続相談(行政書士)	官公署に提出する書類等の相談を行政書士が受ける。 毎月第1水曜日 13:00~16:00(予約不要) もんぜんぶら座4階市民相談室	11回開催 相談件数 21件 利用者数 25人(男性7人、女性18人) 長野県行政書士会への報償金支払額 30,000円	手続相談 日時:毎月第1水曜日、13時~16時 実施主体:長野県行政書士会長野支部 対象:市民と長野地域連携中枢都市圏住民 受付時間:当日15時30分まで(予約不要) 相談料:無料	30	30	市民窓口課		40
	人権擁護委員会活動費補助金	長野人権擁護委員協議会の活動を支援するため補助金を交付する。 長野市の人権擁護委員34名(H31.4.1現在)	補助金交付 1,227,085円	補助金交付 1,220,020円	1,228	1,225	人権・男女共同参画課		41

第5章 各人権課題に対する施策の方向性

1 同和問題									
(1)当事者性を踏まえた相談体制の充実	生活相談	日常生活に関すること等について、指導職員が相談に応じる。	随時実施	随時実施	0	0	人権・男女共同参画課		42
(2)多様な手法による教育啓発	人権同和教育集会所管理運営	人権同和教育集会所の理解と認識を深めるために研修を実施し人権尊重意識の高揚を図るとともに、地域住民の教養を高め、生活の改善を図る。 研修等に要する経費、光熱水費等の施設管理費(16集会所委託)	・15集会所管理運営委託料 3,993,000円 (1か所休止中)	・15集会所管理運営委託料 3,993,000円 (1か所休止中)	4,420	4,423	人権・男女共同参画課		43
	人権同和教育集会所維持修繕	人権同和教育集会所16か所の維持修繕を行う。	・上町集会所舗装修繕 270,613円 ・豊野集会所小便器修繕 142,884円 ・上石川集会所消防設備修繕 19,440円 (1か所休止中)	人権同和教育集会所15か所の維持修繕を行う。 (1か所休止中)	1,200	1,200	人権・男女共同参画課		44
	隣保館管理運営	隣保館4館の管理運営を行う。 (中央、大豆島、若穂、豊野) ・学級講座事業 ・地域交流事業 ・生活相談事業	隣保館4館の管理運営を実施。 (中央、大豆島、若穂、豊野) ・学級講座事業 料理教室、革細工、フラワーアレンジメント等 ・地域交流事業 文化芸能祭、ふれあい交流フェスティバル等 ・生活相談事業 随時	隣保館4館の管理運営を実施。 (中央、大豆島、若穂、豊野) ・学級講座事業 料理教室、革細工、フラワーアレンジメント等 ・地域交流事業 文化芸能祭、ふれあい交流フェスティバル等 ・生活相談事業 随時	29,393	29,329	人権・男女共同参画課	(再掲)	45
(3)課題解決に向けた施策の推進	隣保館等改修	隣保館4館及び改良住宅12戸の維持修繕・改修を行う。	<隣保館> ・中央隣保館 トイレ外内壁塗装工事 2,592,000円 ・中央隣保館 高圧気中遮断器更新工事 582,120円 ・大豆島隣保館 流し修繕 51,516円 ・若穂隣保館 水銀灯修繕 39,312円他 <改良住宅> ・大豆島改良住宅 浴室天井修繕 81,248円他	予算の範囲内で維持修繕・改修を実施	4,196	4,623	人権・男女共同参画課		46
	児童遊園地管理	同和対策事業で設置した児童遊園地の管理を行う。 上石川児童遊園地	地権者への協力費支払い 115円/㎡ * 356㎡ 40,940円	地権者への協力費支払い 115円/㎡ * 356㎡ 40,940円	41	41	人権・男女共同参画課		47
	住宅新築資金等貸付金回収	住宅新築資金等貸付金の回収を行うと共に、滞納者への償還強化を図る。	・個別訪問による催告を実施(5件) ・償還対象者19名27件(H30.4.1現在)のうち、1名1件が完済 ・滞納額【30年度での減少額 ▲2,231,736円】 71,030,458円(H30.4.1現在)→68,798,722円(30年度末)	納付状況により、滞納者へ個別訪問による催告を実施する。 悪質滞納者に対し、市顧問弁護士へ相談の上対応を検討する。	137	132	人権・男女共同参画課		48

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
2 女性									
(1)男女共同参画意識の啓発	公民館維持管理・学習活動	市立公民館において、女性と男性が互いにその人権を尊重できるよう男女共同参画の視点を取り入れた各種講座の開催や、女性学習支援講座を実施する。	企画公民館数:6館 事業数計:9事業 開催回数計:26回 延べ学習者数(主催+共催):888人	企画公民館数:5館 事業数計:6事業 開催回数計:14回	338,458	371,505	家庭・地域学びの課	(再掲)	49
	男女共同参画セミナーの開催支援	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	・21団体 延23回 実施	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	300	300	人権・男女共同参画課		50
	男女共同参画センター企画講座開催	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV防止啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等	・男女共同参画月間講演会 1回 ・男女共同参画月間市民企画等(セミナー・講座等開催) 15回 ・人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等 11講座 13回	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV防止啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等	710	710	人権・男女共同参画課		51
	男女共同参画啓発用リーフレット作成	男女共同参画に関する啓発用リーフレットの作成	DV防止啓発用リーフレットの作成	男女共同参画に関する啓発用リーフレットの作成	109	109	人権・男女共同参画課	(再掲)	52
	男女共同参画情報紙(with you)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	416	424	人権・男女共同参画課		53
	男女共同参画市民サポーター活動支援	地域での男女共同参画の推進を図るため、市民サポーターの活動を支援する。	・男女共同参画市民サポーターによる男女共同参画セミナーの開催 2回	地域での男女共同参画の推進を図るため、市民サポーターの活動を支援する。	17	17	人権・男女共同参画課		54
	参画団体、女性団体支援	女性の社会活動参画を図るため、男女共同参画センターを拠点として、男女共同参画社会の実現を目的の1つとして活動する団体を支援する。	・男女共同参画団体支援 3団体 勤労者女性会館しなのき施設1室(ホール除)を月2回まで使用料免除 高速印刷機の無料使用 男女共同参画情報の提供 ・女性団体支援 1団体 勤労者女性会館しなのき会議室等使用料免除 高速印刷機の無料使用 男女共同参画情報の提供	女性の社会活動参画を図るため、男女共同参画センターを拠点として、男女共同参画社会の実現を目的の1つとして活動する団体を支援する。	0	0	人権・男女共同参画課		55
	男女共同参画促進サポート事業補助金	市民団体等の企画による男女共同参画に関する講座・セミナーやシンポジウムの開催、調査研究を支援する。	・シンポジウム補助額 100,000円 2企画	市民団体等の企画による男女共同参画に関する講座・セミナーやシンポジウムの開催、調査研究を支援する。	500	500	人権・男女共同参画課		56
	男女共同参画に関する市民意識と実態調査等	市民アンケートを実施し、第四次長野市男女共同参画基本計画の進捗状況及び現状を把握する。	・男女共同参画に関する市民意識と実態調査 [調査対象]平成30年9月18日現在で長野市に在住する20歳以上75歳未満の男女各1,000人(計:2,000人) [抽出方法]長野市住民基本台帳より単純無作為抽出 [調査時期]平成30年9月28日(金)から平成30年10月15日(月)まで [回収状況]809票(回収率40.5%)	・男女共同参画に関する市民意識と実態調査 [調査対象]長野市に在住する20歳以上75歳未満の男女各1,000人(計:2,000人)	660	786	人権・男女共同参画課		57
	働く女性の家管理運営	働く女性の家の管理運営(柳町・南部) 男女共同参画講座、女性の再就職・資格取得支援講座、趣味講座、料理講座、軽運動講座の開催	・働く女性の家指定管理料(柳町・南部) 28,424,000円 ・柳町働く女性の家 男女共同参画講座 延べ62回実施 延べ参加者1,840人 女性の再就職・資格取得支援講座 延べ350回実施 延べ参加者3,082人 趣味講座 延べ296回実施 延べ参加者4,304人 料理講座 延べ20回実施 延べ参加者421人 軽運動講座 延べ923回実施 延べ参加者14,087人 ・南部働く女性の家 男女共同参画講座 延べ67回実施 延べ参加者762人 女性の再就職・資格取得支援講座 延べ240回実施 延べ参加者1,500人 趣味講座 延べ307回実施 延べ参加者3,900人 料理講座 延べ20回実施 延べ参加者302人 軽運動講座 延べ594回実施 延べ参加者11,612人	・働く女性の家指定管理料(柳町・南部) 28,638,000円 ・南部働く女性の家天井アスベスト調査委託料 50,000円 ・ " 冷房設備及び換気設備改修 5,843,000円 ・柳町働く女性の家 男女共同参画講座 延べ70回 延べ参加者1,850人 女性の再就職・資格取得支援講座 延べ350回実施 延べ参加者3,100人 趣味講座 延べ300回実施 延べ参加者4,400人 料理講座 延べ35回実施 延べ参加者450人 軽運動講座 延べ930回実施 延べ参加者14,200人 ・南部働く女性の家 男女共同参画講座 延べ70回実施 延べ参加者800人 女性の再就職・資格取得支援講座 延べ245回実施 延べ参加者1,600人 趣味講座 延べ310回実施 延べ参加者4,000人 料理講座 延べ22回実施 延べ参加者350人 軽運動講座 延べ600回実施 延べ参加者12,000人	28,424	34,531	人権・男女共同参画課		58

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(1)男女共同参画意識の啓発	勤労者女性会館しなのき管理運営	勤労者女性会館しなのき(男女共同参画センター併設)の管理運営	・勤労者女性会館しなのき指定管理料 18,998,000円 ・冷水発生器改修工事 55,296,000円 ・誘導灯更新外工事 2,278,800円 ・電灯修繕工事 141,480円 ・センター会議室照明設備改修工事 697,680円	・勤労者女性会館しなのき指定管理料 19,125,000円 ・2階多目的ホール移動観覧席足下灯更新 2,420,000円 ・屋上防水改修 34,599,000円 ・誘導等更新 4,006,000円	81,938	60,650	人権・男女共同参画課		59
	農村女性いきいき活動推進事業	農村女性が能力を十分に発揮できる農村社会の実現を図るため、「長野市農村女性プラン」を推進する。推進事業の一環としてフォーラムを開催する。	開催日:平成31年2月7日(木) 場所:若里市民文化ホール 内容:事例発表2件、講演会 参加者:428人	農村女性が能力を十分に発揮できる農村社会の実現を図るため、「長野市農村女性プラン」を推進する。推進事業の一環としてフォーラムを開催する。 時期:1月末頃 場所:JAアクティールホール 定員:約500名	644	692	農業政策課		60
	子育て支援事業所連絡協議会運営	企業経営者団体との連携組織である「長野市子育て支援事業所連絡協議会」において、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現」に向けた取組の推進を図る。協議会開催、講演会(年間2回)実施	講演会2回開催 ・H30.7.1/谷口真由美氏/203人(男女共同参画月間講演会として) ・H31.2.20/瀬地山角氏/103人	講演会2回開催 ・令和元年6月 ・令和2年2月	250	250	子ども政策課		61
(2)政策決定の場への女性の参画促進	優良事業者表彰制度	女性の採用、管理職への登用、男女が共に働きやすい職場環境づくり及びワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的な取り組みを行っている事業者を表彰する。	・優良事業者表彰 1社 株式会社JBN ・奨励賞 1社 株式会社 中嶋製作所	女性の採用、管理職への登用、男女が共に働きやすい職場環境づくり及びワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的な取り組みを行っている事業者を表彰する。	0	0	人権・男女共同参画課	(再掲)	62
	男女共同参画セミナーの開催支援	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	・21団体 延23回 実施	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	300	300	人権・男女共同参画課	(再掲)	63
	男女共同参画センター企画講座開催	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	・男女共同参画月間講演会 1回 ・男女共同参画月間市民企画等(セミナー・講座等開催) 15回 ・人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等 11講座 13回	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV防止啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等	710	710	人権・男女共同参画課	(再掲)	64
(3)ワーク・ライフ・バランスの推進	傍聴託児サービス	子育てのため議会の傍聴が困難な人に議会の傍聴をしやすいよう、議会傍聴時の児童一時預かりサービスを利用した場合の料金を全額減免又は全額補助を行う。また、7月に開催する市民と議会の意見交換会では託児室を設置する。	子育てのため議会の傍聴が困難な人に議会の傍聴をしやすいよう、議会傍聴時の児童一時預かりサービスを利用した場合の料金を全額減免又は全額補助を行う。また、5月に開催する市民と議会の意見交換会では託児室を設置する。 H30年度議会傍聴時の児童一時預かりサービス利用者 0名 H30年度意見交換会託児室利用者 0名	議会を傍聴するために「一時預かり事業」を利用して子どもを預けた場合、保育時間に応じた料金の全額を補助又は減免する、「議会傍聴時の乳幼児一時預かりサービス」を実施する。また、5月に開催する市民と議会の意見交換会では託児室を設置する。	27	29	総務議事調査課		65
	男女共同参画セミナーの開催支援	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	・21団体 延23回 実施	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	300	300	人権・男女共同参画課	(再掲)	66
	男女共同参画センター企画講座開催	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV防止啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等	・男女共同参画月間講演会 1回 ・男女共同参画月間市民企画等(セミナー・講座等開催) 15回 ・人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等 11講座 13回	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV防止啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等	710	710	人権・男女共同参画課	(再掲)	67
	男女共同参画啓発用リーフレット作成	男女共同参画に関する啓発用リーフレットの作成	男女共同参画に関する啓発用リーフレットの作成	DV防止啓発用リーフレットの作成	109	109	人権・男女共同参画課	(再掲)	68
	男女共同参画情報紙(with you)	フリーペーパー(ながの情報)に情報紙(with you)を掲載し、男女共同参画についての啓発を図る。(年3回) (発行部数 15,000冊)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	416	424	人権・男女共同参画課	(再掲)	69
	優良事業者表彰制度	女性の採用、管理職への登用、男女が共に働きやすい職場環境づくり及びワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的な取り組みを行っている事業者を表彰する。	・優良事業者表彰 1社 株式会社JBN ・奨励賞 1社 株式会社 中嶋製作所	女性の採用、管理職への登用、男女が共に働きやすい職場環境づくり及びワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的な取り組みを行っている事業者を表彰する。	0	0	人権・男女共同参画課	(再掲)	70
	市民会議等託児(保育士賞金)	各地区市民会議において、子育て中の市民が参加できるよう、各会場に託児のための保育士を配置する。	各地区市民会議において、子育て中の市民が参加できるよう、各会場に託児のための保育士を配置した。 開催12地区の全地区で託児所開設(利用実績なし)	各地区市民会議において、子育て中の市民が参加できるよう、各会場に託児のための保育士を配置する。 開催7地区の全地区で託児所開設予定	64	62	広報広聴課		71

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(3)ワーク・ライフ・バランスの推進	施設見学時託児サービス負担金	施設見学において、子育て中の市民が参加できるよう、未就学児童の一時預かり(一時保育)サービスを参加者が利用した場合に、保育料を全額補助する。	施設見学において、子育て中の市民が参加できるよう、未就学児童の一時預かり(一時保育)サービスを参加者が利用した場合の保育料を全額補助対象とした。 施設見学4回開催(利用実績なし)	施設見学において、子育て中の市民が参加できるよう、未就学児童の一時預かり(一時保育)サービスを参加者が利用した場合に、保育料を全額補助する。 施設見学4回開催予定	12	13	広報広聴課		72
	子育て支援事業所連絡協議会運営	企業経営者団体との連携組織である「長野市子育て支援事業所連絡協議会」において、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現」に向けた取組の推進を図る。 協議会開催、講演会(年間2回)実施	講演会2回開催 ・H30.7.1/谷口真由美氏/203人(男女共同参画月間講演会として) ・H31.2.20/瀬地山角氏/103人	講演会2回開催 ・令和元年6月 ・令和2年2月	250	250	子ども政策課	(再掲)	73
(4)女性の人権を守るための取組	男女共同参画セミナーの開催支援	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	・21団体 延23回 実施	地域、事業所等で開催される、男女共同参画に関する内容のセミナー等について、講師派遣、ビデオ・DVD貸出し、啓発資料提供等の支援を行う。	300	300	人権・男女共同参画課	(再掲)	74
	男女共同参画センター企画講座開催	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV予防啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV予防講座等	・男女共同参画月間講演会 1回 ・男女共同参画月間市民企画等(セミナー・講座等開催) 15回 ・人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等 11講座 13回	男女共同参画意識の啓発、女性の社会参加促進、ワーク・ライフ・バランス推進及びDV防止啓発等に関する各種講座等を開催する。 男女共同参画月間事業(6/23~7/22) 人材育成講座、再就職支援講座、DV防止講座等	710	710	人権・男女共同参画課	(再掲)	75
	男女共同参画啓発用リーフレット作成	男女共同参画に関する啓発用リーフレットの作成	男女共同参画に関する啓発用リーフレットの作成	DV防止啓発用リーフレットの作成	109	109	人権・男女共同参画課	(再掲)	76
	男女共同参画情報紙(with you)	フリーペーパー(ながの情報)に情報紙(with you)を掲載し、男女共同参画についての啓発を図る。 (年3回) (発行部数 15,000冊)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	・フリーペーパー(ながの情報)へ年間3回掲載(7月・11月・3月)	416	424	人権・男女共同参画課	(再掲)	77
	女性相談員配置	自立等に悩みを持つ要保護女子等に、生活相談など自立に向けた相談に応じるとともに、必要に応じ適切な保護を行う。	・女性相談員2名を配置した。(子育て支援課、福祉政策課ノ井分室) ・相談件数(件) 生活828、医療27、就職47、住宅58、離婚308、その他109 計 1,377	・女性相談員2名を配置する。(子育て支援課、福祉政策課ノ井分室) ・自立等に悩みを持つ要保護女子等の相談に応じ、悩みごとの解決を図るほか、関係機関等と連携し、必要な支援を実施する。	5,501	5,534	子育て支援課		78
	母子生活支援施設管理運営委託	夫等から暴力を受け、支援者もない母子等を施設に受け入れ、自立支援計画を立て、指導員が自立に向けて指導・支援する。	・入所世帯数(平均) 6世帯	・夫等から暴力を受け、支援者もない母子等を施設に受け入れる。 ・入所した母子等について、自立支援計画を立て、指導員が自立に向けて指導・支援する。	50,905	52,011	子育て支援課		79
	女性弁護士による法律相談	長野県弁護士会との共催により、女性の権利一般に関する問題について女性弁護士が相談に応じ、解決のためのアドバイスを行う。 毎月 第2水曜日 10:00~12:00(先着4名)	・相談実績 37人	長野県弁護士会との共催により、女性の権利一般に関する問題について女性弁護士が相談に応じ、解決のためのアドバイスを行う。 毎月 第2水曜日 10:00~12:00(先着4名)	240	240	人権・男女共同参画課		80
	女性のための相談	男女共同参画センターにおいて、専門の女性相談員が常駐し、女性特有の悩みや就業に関する不安等について相談を受ける。また、暴力を受けている女性に対し、その対応について、関係機関と連携を図る。 平日 9:00~16:00、第2土曜日(電話相談のみ)	・相談実績 418件(電話377件、面談41件)	男女共同参画センターにおいて、専門の女性相談員が常駐し、女性特有の悩みや就業に関する不安等について相談を受ける。また、暴力を受けている女性に対し、その対応について、関係機関と連携を図る。 平日 9:00~16:00、第2土曜日(電話相談のみ)	9,221	9,122	人権・男女共同参画課		81
市営住宅の優先入居	DV被害者に対し、その優先区分を設定されて募集している住宅へ申し込みをした場合に、優先入居を行う。	実績なし	過去の募集状況を考慮して、募集団地に優先枠を設ける。	0	0	住宅課	(再掲)	82	
3 子ども									
(1)児童虐待への対応	家庭児童相談員配置	家庭における適正な児童教育・福祉の向上を図るため、生活習慣、学校生活、家庭環境等児童に関わる相談を実施する	・家庭児童相談員2名を配置した。(子育て支援課、福祉政策課ノ井分室) ・相談件数(件) 性格・生活習慣4、知能・言語2、学校生活309、非行10、家族関係1,405、環境福祉1,362、心身障害179、その他74 計 3,345	・家庭児童相談員2名を配置する。(子育て支援課、福祉政策課ノ井分室) ・家庭における適正な児童教育・福祉の向上を図るため、生活習慣、学校生活、家庭環境等児童に関わる相談を実施する。	38	2,641	子育て支援課		83
	要保護児童対策協議会運営	児童相談所等の関係機関と連携を図り、虐待等による要保護児童の早期発見や適切な保護を行う。 児童虐待防止強化のための専門職を配置する。	・進行管理ケース 582世帯 ・個別ケース検討会議 306件 ・児童虐待防止対策強化のための専門職1名を配置した。	・長野市要保護児童対策協議会を通じて、児童相談所をはじめとした関係機関と連携を図り、児童虐待の未然防止や、要保護児童の早期発見及び適切な保護を行う。 ・児童虐待防止対策強化のための専門職1名を配置する。	3,469	3,839	子育て支援課		84

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
	養育支援訪問事業	母子保健事業等を通じて把握した支援を要する家庭に対して、保健師やヘルパーを派遣して、家庭内での育児に関する具体的な援助支援を行う。	・実支援世帯数 59世帯	・母子保健事業等を通じて、養育を支援することが特に必要と認められた家庭に対し、その養育が適切に行われるよう、当該居宅に支援員を派遣し、家事・育児の支援を行う。	4,528	7,209	子育て支援課		85
(2)幼児期の子育て支援等	乳幼児発達健診	乳幼児健診や教室等の結果、運動機能、精神面、行動面で発達に不安がある乳幼児とその保護者を対象に個別面接による問診、小児神経科医による診察・指導及びその他専門スタッフによる相談を実施する。	実施回数:38回、受診者数:81人(実人数:71人) 受診結果(重複あり) 注意欠陥/多動性障害 6 精神遅滞 3 広汎性発達障害/自閉症 72 その他 0	・乳幼児健診やあそびの教室等の結果、運動機能、精神面、行動面で発達に不安がある乳幼児とその保護者を対象に、個別面接による問診、小児神経科医による診察・指導及びその他専門スタッフによる相談を実施する。	1,744	1,815	子育て支援課	健康課から移管	86
	乳幼児健全発達支援相談	1歳6か月児健康診査において、精神発達、運動、言語発達等の遅滞や不安があると判断された幼児に対し、集団遊び等における経過観察や生活体験、あそび等による親子関係の醸成と、幼児の発達の促進を図る。	・精神発達継続相談(すくすく相談)件数:284件 ・すくすく広場回数:120回、延べ参加者数:929人(実人数250人) ・あそびの教室回数:202回、延べ参加者数:1,158人(実人数71人)	・1歳6か月児健康診査で、精神発達、運動、言語発達等の遅滞や不安があると判断された幼児について、すくすく広場による集団遊びで経過観察を行い、その後に必要な支援につなげる。 ・経過観察の結果、精神発達、運動等の遅滞の恐れのある幼児及び保護者に対し、あそびの教室を通じて対象児童の発達の促進を図る。	15,708	16,354	子育て支援課	健康課から移管	87
	要支援母子保健対策	心身、環境に問題を抱える妊産婦、乳児、低出生体重児、長期療養児(乳児～5歳児)に対し、専門的な相談や訪問等を実施し、子どもの健やかな成長と発達を促す	実施回数:12回、参加のべ人数:107人(実人数:84人) 対象者内訳 乳幼児 84人 未熟児 40人	母子専門相談年12回実施、うち歯科併用5回	964	1,232	健康課		88
	経過観察児フォローアップ事業	乳幼児発達健診等の結果、精神面・行動面・言語面等で発達に不安がある子どもと保護者に対し、専門スタッフによる個別療育、グループ療育、園訪問等を実施することで、個々に持つ能力の発達を促し、生活する力を伸ばす。	・個別療育実施回数:124回、参加のべ組数:248組(実組数:24組) ・グループ療育(個別療育受診者の内数)実施回数:10回、参加のべ組数:38組(実組数:8組) ・診断結果(疑い含む)広汎性発達障害/自閉症 32人	・乳幼児発達健診等の結果、医療での経過観察が必要な子どもの保護者に対して、医療につながるまでの期間に、医療相談により保護者の不安を軽減し、医療につながるよう支援する。	3,707	2,211	子育て支援課	健康課から移管	89
	公民館維持管理・学習活動	市立公民館において、子どもが安心して健やかに成長できるよう未就園児や保護者を対象にした子育て講座等の実施や、子育てサークルに活動場所を提供するなど、子育て家庭の支援事業を行う。	企画公民館数:29館 事業数計:144事業 開催回数計:533回 延べ学習者数(主催+共催):15,192人	企画公民館数:29館 事業数計:138事業 開催回数計:594回	338,458	371,505	家庭・地域学びの課(再掲)		90
(3)人権に配慮した学校教育の推進	心の教育推進	中間教室に不登校状態の児童生徒が通し、適応指導員や在籍校の支援により、精神的安定や集団的生活への適応、基礎学力の補充等を図り、再登校に繋げる。 「しなのき児童生徒意識アンケート」を実施し、児童・生徒の心理状態や学校の状況を的確に捉え、不登校の未然防止を図る。	・中間教室市内7カ所設置 担当指導主事2人、適応指導員6人、巡回適応指導員4人 H30年度通室児童生徒のべ数82人(小学生19人、中学生63人) ・しなのき児童生徒意識アンケート 小5.6年生と中1.2年生を対象に年2回実施	・中間教室市内7カ所設置 担当指導主事2人、適応指導員6人、巡回適応指導員4人 ・しなのき児童生徒意識アンケート 小5.6年生と中1.2年生を対象に年2回実施	26,013	26,517	学校教育課		91
	教育相談	・心身に障害を持つ児童・生徒や、その保護者・教師などの相談に対する支援・指導を行う。 ・教育等に関して電話・来所により相談を受ける。	・心身に障害を持つ又はそれが疑われる児童・生徒への支援 就学に関する教育相談 449件 ・教育等に関する電話・来所による相談 電話429人 来所27人	・心身に障害を持つ児童・生徒や、その保護者・教師などの相談に対する支援・指導を行う。 ・教育等に関して電話・来所により相談を受ける。	37,778	30,024	学校教育課	教育センター	92
	教職員研修	教職員の研修講座の中に人権をテーマにした講座を設けたり、人権問題を一部取り入れたりして、人権感覚を高める講座を実施する。	・教職員の研修講座 4講座実施	教職員の研修講座の中に人権をテーマにした講座を設けたり、人権問題を一部取り入れたりして、人権感覚を高める講座を実施する。	16,162	13,840	学校教育課	教育センター	93
	特別支援教育の推進	「さんさんプラン」をもとに、フットワーク、チームワーク、ネットワークを大切に、個別の指導計画の実現に向け、支援員研修、コーディネーター研修、訪問支援を行う。	・支援員研修 2回(新任4/17、研修7/30) ・コーディネーター研修会 2回(第1回4/24、第2回7/2) ・指導主事による訪問支援 56回	・支援員研修 2回(新任4/16、研修7/29・30) ・コーディネーター研修会 2回(第1回5/13、第2回7/4) ・指導主事による訪問支援 60回	151,666	183,225	学校教育課		94
	外国籍等児童生徒の相談・支援	外国籍等児童生徒が安心して学校生活を送れるように、日本語を習得するための学習支援を行う。なお、学校における生活習慣を身につけるための生活支援も行う。	・日本語指導の必要な児童生徒(5月1日現在) 102人 ・日本語巡回指導員、日本語指導協力者人数 18人 ・指導員等派遣学校数 小学校 12校、中学校 7校	・日本語指導の必要な児童生徒(5月1日現在) 90人 ・日本語巡回指導員、日本語指導協力者人数(4月1日現在) 15人 ・指導員等派遣学校数 小学校 10校、中学校 5校	4,889	5,604	学校教育課		95
(4)健全育成のための環境づくり	放課後子ども総合プラン推進	放課後等の小学生の安全で安心な居場所を確保し、遊び・交流・各種体験活動を通じて、子どもたちの人間性が、より深く、より豊かになることを目指す	・登録児童数8,354人(5月1日時点) ・利用料(児童一人当たり月額2,000円)を導入 ・安茂里児童センターの耐震補強工事を実施	・日誌児童館の耐震補強工事実施設計	1,094,513	1,128,871	こども政策課		96

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
4 高齢者									
(1)自立と社会参加の促進	老人福祉専門分科会運営事業	高齢者施策を推進するため、長野市社会福祉審議会高齢者専門分科会において、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を審議し、各種施策の実施状況の把握及び定期的な見直し等を行う。	老人福祉専門分科会・2回開催(5月、2月) 委員等報酬 105,000円 通信運搬費 8,640円	老人福祉専門分科会・3回開催(5月、10月、1月) 委員等報酬 315,000円 消耗品費 21,254円 通信運搬費 18,315円	382	356	高齢者活躍支援課		97
	高齢者授産施設就労奨励	授産施設に通所している60歳以上の高齢者のうち通所距離が2キロメートル以上であるものを対象に就労を奨励するため、就労奨励金を支給する。	長野授産所年間支給額 101,990円(対象者4名) 篠ノ井授産所年間支給額 133,300円(対象者7名) 松代福祉企業センター年間支給額 61,950円(対象者3名) 戸隠福祉企業センター年間支給額 79,400円(対象者3名) 信州新町授産センター年間支給額 59,070円(対象者3名) 中条社会就労センター年間支給額 332,710円(対象者20名)	長野授産所支給対象者 3名 篠ノ井授産所支給対象者 7名 松代福祉企業センター支給対象者 3名 戸隠福祉企業センター支給対象者 3名 信州新町授産センター支給対象者 4名 中条社会就労センター支給対象者 21名 (4月1日現在)	1,151	1,217	高齢者活躍支援課		98
	老人福祉センター管理運営委託	高齢者に対し、健康の保持増進、教養の向上、生きがいをづくりのための便宜を提供し、社会参加を促進する。 また、地域における福祉活動の場を提供し、介護予防につなげる。	生きがいをづくり講座 年間受講者数 160,830人 指定管理料(11施設) 132,049,000円	生きがいをづくり講座 指定管理料(11施設) 137,886,000円	134,838	147,154	高齢者活躍支援課		99
	老人福祉センター管理運営	高齢者に対し、健康の保持増進、教養の向上、生きがいをづくりのための便宜を提供し、社会参加を促進する。 また、地域における福祉活動の場を提供し、介護予防につなげる。	湯～ばれあ 高齢者福祉ゾーン提案事業運営費負担金 473,000円 信州新町福祉センター高齢者生きがいをづくり講座業務委託 1,670,760円	湯～ばれあ 高齢者福祉ゾーン提案事業運営費負担金 480,000円 信州新町福祉センター高齢者生きがいをづくり講座業務委託 1,687,000円	7,146	7,380	高齢者活躍支援課		100
	ふれあい交流ひろば管理運営	小田切、信更、松代、七二会及び戸隠のふれあい交流ひろばにおいて「高齢者を対象とする生きがいをづくり講座等の開催」「高齢者のクラブ活動、レクリエーション活動の場の提供」「世代間交流事業、地域福祉活動に関する集会などの場の提供」を行う。	生きがいをづくり講座 年間 計219回 参加者数 延5,133人	生きがいをづくり講座・カラオケ講座等の開催。	17,300	15,940	高齢者活躍支援課		101
	シニアアクティブルーム運営	高齢者の積極的な社会参加を促進し、生きがいをもちつことで介護予防の向上を図る。 対象者 ①市内に居住する60歳以上の者 ②地域福祉に関する活動をしようとする者	生きがいをづくり講座 年間 計234回 参加者数 延10,094人	生きがいをづくり講座の開催	5,638	5,591	高齢者活躍支援課		102
	老人憩の家管理運営	老人憩の家利用者(市内に居住する60歳以上の者)の相互交流、教養の向上及び憩の場を提供し、生きがいをづくりと健康増進を図る。 利用料金 200円(身体障害者手帳等所持者は無料)	長野市松代老人憩の家指定管理料 9,178,000円 長野市石川老人憩の家ほか5施設指定管理料 60,072,000円	長野市松代老人憩の家指定管理料 27,054,000円 長野市石川老人憩の家ほか5施設指定管理料 62,134,000円	69,407	92,779	高齢者活躍支援課		103
	ながのシニアライフアカデミー運営	高齢者が他の世代とともに社会における積極的な役割を果たすことを期待し、地域における指導的役割を果たす人材(地域リーダー)を育成することを目的とし、長野県短期大学、信州大学との連携による講義形式の講座を2年間で計22回開催する。	2年生 32名 講座年15回開催(課外活動含む)	1年生 29名 講座年15回開催予定(課外活動含む)	2,170	1,900	高齢者活躍支援課		104
	敬老祝事業	年度中に88歳、100歳の誕生日を迎える者及び市内最高齢者に敬老祝状等を贈呈し、高齢者自身の生活意欲の向上及び市民の高齢者に対する敬愛の精神と高齢者福祉についての理解と関心の向上を図る。	88歳対象者 2,468名 市から祝い状と記念品を贈呈 100歳対象者 130名 市、県から祝い状、国から祝い状と記念品を贈呈 市内最高齢者 1名(109歳) 市から祝い状と記念品を贈呈	88歳対象者 市から祝い状と記念品を贈呈 100歳対象者 市、県から祝い状、国から祝い状と記念品を贈呈 市内最高齢者 1名 市から祝い状と記念品を贈呈	2,563	2,171	高齢者活躍支援課		105
	敬老祝事業補助金	77歳及び100歳の長寿を祝福し、高齢者の生活意欲の向上につなげる。	高齢者無料写真撮影事業 77歳撮影希望者 1,868名 100歳撮影希望者 55名 長野市営業写真館協会への補助金 3,300,000円	高齢者無料写真撮影事業 77歳撮影希望者 100歳撮影希望者 長野市営業写真館協会への補助金 3,300,000円	3,300	3,300	高齢者活躍支援課		106
	はり、マッサージ費助成	視覚障害者である施術者に対し施術場所を提供するとともに、憩の家利用者に低料金にてマッサージ等を提供する。	はり・マッサージ費援護金 (施術述べ日数1,131日×5,500円=6,220,500円)	市内10か所の憩の家で17名の施術者がマッサージ等を提供する。(4月1日現在)	6,990	7,039	高齢者活躍支援課		107

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(1)自立と社会参加の促進	高齢者生活福祉センター運営	一人暮らし等で在宅で日常生活を送ることが困難な高齢者に日常生活を支援するための拠点として高齢者生活福祉センター及び共同生活支援施設を設置する。 居宅での生活に不安のある高齢者に必要に応じて住居を提供し、各種相談・助言等、緊急時の対応を行う。	高齢者生活福祉センター年間利用者 178人 高齢者共同生活支援施設年間利用者 84人 指定管理料 37,004,000円	指定管理料 37,167,000円	37,035	37,172	高齢者活躍支援課		108
	老人クラブ補助金	市内の老人クラブに補助金を交付し、高齢者の知識及び経験を活かした生きがいづくりと健康づくりのための自主的な社会活動を支援する。	・単位老人クラブ 会員割29人以下 533,600円 ・ " " 社会活動割 5,976,000円 ・市老人クラブ連合会 運営費(人件費) 4,760,031円 ・地区老人クラブ連合会助成補助 776,380円 計 12,046,011円	・単位老人クラブ 会員割29人以下 570,400円 ・ " " 社会活動割 6,083,000円 ・地区老人クラブ連合会助成補助 739,750円 計 7,393,150円	12,449	7,420	高齢者活躍支援課		109
	国補・老人クラブ補助金	市内の老人クラブに補助金を交付し、高齢者の知識及び経験を活かした生きがいづくりと健康づくりのための自主的な社会活動を支援する。	・単位老人クラブ 会員割30人以上 9,867,100円 ・市老人クラブ連合会 基準額 240,000円 ・市老人クラブ連合会 会員割 1,411,600円 ・健康づくり事業補助金 2,500,000円 計 14,018,700円	・単位老人クラブ 会員割30人以上 9,867,100円 ・市老人クラブ連合会 基準額 240,000円 ・市老人クラブ連合会 会員割 1,345,000円 ・市老人クラブ連合会 運営費(人件費) 4,761,049円 ・健康づくり事業補助金 2,500,000円 計 18,713,149円	14,365	18,714	高齢者活躍支援課		110
	おでかけバスポート事業補助	高齢者の生きがい及び健康づくりの推進と積極的な社会参加を促すことを目的とし、市内在住で70歳以上のおでかけバスポート所持者を対象に市内路線のバス運賃が低額になるよう、バス事業者と分担し差額を補助する。 同時に公共交通機関であるバスの利用促進も図る。	おでかけバスポート所持者 54,740人 1日当たり平均利用回数 2,546人 おでかけバスポート事業 長野市負担金(バス事業者) 135,875,554円	おでかけバスポート事業 長野市負担金(バス事業者) 151,366,003円	165,651	165,319	高齢者活躍支援課		111
	老人福祉センター小規模改修	老人福祉センター、ふれあい交流ひろば、高齢者生活福祉センター等の高齢者福祉課所管施設の計画的又は緊急的な工事を行い、安全かつ円滑に施設を管理・運営するとともに利用者の利便向上を図る。	若槻老人憩の家 浴槽改修工事 1,231,200円 茂菅老人憩の家 源泉施設復旧工事負担金 1,186,738円	老人福祉センター小規模改修 54,841,000円	50,753	54,841	高齢者活躍支援課		112
	老人憩の家小規模改修	老人憩の家の計画的又は緊急的な工事を行い、安全かつ円滑に施設を管理・運営するとともに利用者の利便向上を図る。	永鉦老人憩の家 真空温水ヒーターセクションニッブル漏れ修繕 691,200円 石川憩の家 ポンプ交換修繕 356,400円 大豆島憩の家 脱衣室修繕工事 699,840円 石川憩の家 排水管緊急処理対策 307,161円 石川憩の家 バス待合所解体工事 493,560円 東北老人憩の家 浴室入口サッシ工事 729,000円 若穂老人憩の家 排水溝設置工事 453,600円	老人憩の家小規模改修 40,500,000円	3,739	40,500	高齢者活躍支援課		113
	地域たすけあい事業補助金	地域たすけあい事業で日程調整等を行うコーディネーターの人件費及び事務費を補助し、円滑な事業の提供を図る。 また、事業の一環として福祉移送サービスを行う自動車の購入費用の全部又は一部を補助する。	コーディネーター人件費・事務費補助 26.5人分 福祉自動車購入補助 1台 2,700千円(芋井地区)	コーディネーター人件費・事務費補助 26.5人分 福祉自動車購入補助 2台 5,000千円(戸隠地区・中条地区)	61,744	64,812	地域包括ケア推進課		114
	市営住宅の優先入居	高齢者に対し、その優先区分を設定されて募集している住宅へ申し込みをした場合に、優先入居を行う。	優先入居 募集戸数 9件 募集申込 19件 入居 5件 専用住宅 募集 1件 募集申込 5件 入居 1件	過去の募集状況を考慮して、募集団地に優先枠を設ける。	0	0	住宅課	(再掲)	115
(2)介護予防、介護サービスの充実	長野広域連合負担金	長野広域連合を構成する9市町村で共同設置している特別養護老人ホーム、養護老人ホーム等について、統括的な管理や計画的な施設整備を行い、適切かつ安定的に運営できるようにし、老人ホーム入所・利用者が質の高いサービスを利用できるようにする。	長野広域連合施設管理費負担金 10,551千円 長野広域連合入所判定委員会負担金 29千円 長野広域連合養護老人ホーム運営費負担金 27,198千円	長野広域連合施設管理費負担金 11,011千円 長野広域連合入所判定委員会負担金 30千円 長野広域連合養護老人ホーム運営費負担金 81,591千円	37,778	92,632	高齢者活躍支援課		116
	介護保険関連サービス基盤整備補助金	第7次長野市高齢者福祉計画・第6期長野市介護保険事業計画における施設整備目標を実現し、長野広域圏における特別養護老人ホームの整備を促進し入所待機者の減少を図ることを目的とし、特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人等に補助金を交付する。	・実績なし	長野広域圏における特別養護老人ホームの整備予定がない。	0	0	高齢者活躍支援課		117

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(2)介護予防、 介護サービスの 充実	国補・介護保険関 連サービス基盤整 備補助金	第7次長野市高齢者福祉計画・第6期長野市介護 保険事業計画における施設整備目標を実現し、 地域における特別養護老人ホームの整備を促進 し入所待機者の減少を図ることを目的とし、小規 模特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人 等に補助金を交付する。	・実績なし	小規模特別養護老人ホーム4施設相当の補助予算あり。 (ハード整備)4,270千円×1.05×29人×4施設 (ソフト整備)800千円×29人×4施設	398,553	968,784	高齢者活躍支援課		118
	独居高齢者等緊急 通報システム設置	ひとり暮らし高齢者等に対して、緊急通報用装 置、安否確認センサー及び火災警報器を貸与し、 急病や災害等の緊急時に通報することにより、 コールセンターから様態確認、協力者による処置 の要請を行い、不安の軽減及び安全確保を図る。	設置台数 1,084台(H31.3.31現在設置数)	設置台数 1,110台	25,350	25,078	地域包括ケア推進課		119
	在宅福祉介護料支 給	介護が必要な高齢者を在宅で6か月以上介護し ている介護者に対して、その労をねぎらい在宅に おける介護を支援する。	第1種(要介護4、5該当) 支給者673人 支給額 23,555千円 第2種(要介護3該当) 支給者510人 支給額 12,750千円 合計 支給総数1,183人 支給総額 36,305千円	第1種(要介護4、5該当) 支給者786人 支給額 27,510千円 第2種(要介護3該当) 支給者558人 支給額 13,950千円 合計 支給総数1,344人 支給総額 41,460千円	45,782	43,667	地域包括ケア推進課		120
	日常生活用具給付 等	ひとり暮らしの高齢者に対して、日常生活の支援 のために必要な電磁調理器、ガス漏れ警報機を 給付する。	電磁調理器 22台 ガス漏れ警報器 2台	電磁調理器 20台 ガス漏れ警報器 7台	196	185	地域包括ケア推進課		121
	訪問理美容サービ ス	寝たきりや認知症の状態のため理容店又は美容 院へ出かけることが困難な高齢者に対して、理容 師又は美容師が高齢者の自宅を訪問し、理・美容 サービスを行う。	理容 利用件数 314件 助成額 1,099千円 美容 利用件数 162件 助成額 567千円 合計 利用件数 476件 助成額 1,666千円	利用件数 550件 助成額 1,925千円	2,179	1,942	地域包括ケア推進課		122
	軽費老人ホーム事 務費補助金	高齢等のため独立して生活するには不安があっ たり、家族の援助が困難な人が自立した生活を送 ることができるように食事、入浴等の日常生活上 のサービスを提供する軽費老人ホームに対して補 助金を交付する。	経費老人ホーム9施設に補助金支給。 豊寿 61,772千円 エマオ 27,697千円 あさひ 35,819千円 博悠会 16,952千円 博愛会 24,500千円 ハynesライフ 24,153千円 ハーモニー 27,430千円 賛育会 14,781千円 四徳健康会 23,179千円	経費老人ホーム9施設に補助金支給。 豊寿 62,676千円 エマオ 27,508千円 あさひ 36,355千円 博悠会 18,050千円 博愛会 24,096千円 ハynesライフ 24,797千円 ハーモニー 27,045千円 賛育会 15,569千円 四徳健康会 23,031千円	267,645	267,318	高齢者活躍支援課		123
	老人ホーム入所措 置	環境上の理由及び経済的な理由により、在宅で の生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所 措置し、生活の場を提供する。	措置者数 139人(H31.3.31現在入所者数)	措置者数 151人×12月	275,821	286,619	地域包括ケア推進課		124
	特別措置	判断能力に乏しく、身寄りの無い高齢者や家族か ら虐待を受けている高齢者に介護保険サービスを 提供し、心身の保持と生活の安定を図る。	特別養護老人ホーム入所措置 6施設 7人 グループホーム入所措置 2施設 2人 特別養護老人ホーム短期入所措置 3施設 4人 養護老人ホーム短期入所措置 8人 9件	特別養護老人ホーム・グループホーム入所継続措置 12人 特別養護老人ホーム・グループホーム入所新規措置 6人 在宅(短期入所入所) 1人 養護老人ホーム短期入所措置 329日分	12,124	12,124	地域包括ケア推進課		125
	在宅介護者リフレッ シュ事業補助金	在宅介護者が介護から一時的に離れ、心身のリ フレッシュを図ることを目的として、介護者相互の 交流や面接相談、介護技術の研修等を行う長野 市社会福祉協議会の事業経費を助成する。	長野市社会福祉協議会主催事業への補助額 170千円	長野市社会福祉協議会主催事業への補助額 170千円	170	170	地域包括ケア推進課		126
	ふれあい会食・自宅 訪問活動事業補助 金	ひとり暮らし高齢者に対して、地域のボランティア 団体が行う定期的な訪問活動及びふれあい会食 を行う費用を助成し、孤独感の緩和や安否確認を 行う。	①ふれあい会食 ボランティア団体 140件 対象者数 3,838人 補助額 6,049千円 ②自宅訪問 ボランティア団体 76件 対象者数 676人 補助額 6,501千円	①ふれあい会食 550円×12,800食 ②自宅訪問活動 10,000円×740人	14,416	14,560	地域包括ケア推進課		127
	徘徊高齢者家族支 援サービス	徘徊行動の見られる認知症高齢者を在宅で介護 している家族が、民間事業者の位置情報検索 サービスを利用する費用の一部を助成し、介護者 の心身の負担を軽減する。	登録者 33人(H31.3.31現在)	前年度継続分 23件×12月 新規分 8件×6月	1,745	1,385	地域包括ケア推進課		128
	高齢者世話付住宅 生活援助員派遣	市営住宅今井団地内の高齢者世話付住宅(シル バーハウジング)21戸に居住する高齢者へ生活援 助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、一 時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを 行う。	21戸中、20戸入居(H31.3.31現在)	21戸入居	2,261	2,282	地域包括ケア推進課		129
	配食サービス	調理が困難なひとり暮らし高齢者等に対して、定 期的に食事を提供(配食)するとともに、安否確認 を行うことにより、孤独感の緩和や健康の維持を 図る。	実施地区 戸隠地区・鬼無里地区 実利用者数 28人 配食総数 戸隠地区 1,130食 鬼無里地区 1,139食 合計 2,269食	実施地区 戸隠地区・鬼無里地区 配食総数 戸隠地区 1,260食 鬼無里地区 1,365食 合計 2,625食	2,647	3,314	地域包括ケア推進課		130

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(2)介護予防、 介護サービスの 充実	総合相談支援	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするために、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。	地域包括支援センター 18(直営1 委託17) 相談支援件数 37,085件	地域包括支援センター 18(直営1 委託17) 相談支援件数 37,500件	415,532	433,996	地域包括ケア推進課		131
	在宅医療・介護連携推進	疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるために地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことができるよう、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制を構築する。	市民公開講座 1回	市民公開講座 1回	18,542	19,983	地域包括ケア推進課		132
	生活支援体制整備	新しい総合事業による生活支援サービスの充実に向け、ボランティア等の養成、地域資源の開発や発掘等、そのネットワーク化等の役割を担う「生活支援コーディネーター」を育成する。	生活支援コーディネーター配置 31地区	生活支援コーディネーター配置 32地区	59,453	59,989	地域包括ケア推進課		133
	介護予防生活支援サービス	介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、要支援者等に対して介護予防・日常生活サービスを提供する。地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスが充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者に対する効果的かつ効率的な支援を目指す。	利用実績 4,159(事業対象者)	利用人数 4,200人(事業対象者)	1,088,385	4,532	地域包括ケア推進課		134
	介護予防ケアマネジメント	介護予防訪問介護と介護予防通所介護により、要支援、要介護状態になる恐れの高い介護保険被保険者(65歳以上)に対し、基本チェックを実施し、介護予防・生活支援サービスの対象になった者に対し必要なサービスにつなげるためにケアマネジメントを行う。	介護予防ケアマネジメント実施件数 3,981件(事業対象者)	介護予防ケアマネジメント実施件数 4,700件(事業対象者)	180,707	88,800	地域包括ケア推進課		135
	介護予防普及啓発	高齢者が参加する、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、自立支援に資する取組を推進し、高齢者が要介護状態になることを防ぐため、介護予防活動の普及・啓発を行う。	介護予防講座・講演会等 開催回数 529回 延参加者数 11,206人	介護予防講座・講演会等 開催回数 520回 延参加者数 11,000人	8,563	9,694	地域包括ケア推進課		136
	地域介護予防活動支援	高齢者が参加する住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、自立支援に資する取組を推進し、高齢者が要介護状態になることを防ぐため、介護予防活動の育成・支援を行う。	介護予防クラブ育成講座 261回 延参加者数4,631人 介護予防クラブ育成数 37団体 (累計171団体)	介護予防クラブ育成講座 200回 延参加者数3,000人 介護予防クラブ育成数 30団体 (累計 201団体)	17,168	6,505	地域包括ケア推進課		137
	地域リハビリテーション活動支援	地域における介護予防の取組を強化するため、訪問・住民運営の通いの場・地域ケア会議等において、リハビリテーション専門職が、地域包括ケアセンターと連携しながら総合的に支援する。	訪問相談(自宅またはデイサービスセンター)117回 地域ケア会議 20回	訪問相談 100回 地域ケア会議 21回	427	476	地域包括ケア推進課		138
(3)権利擁護の 推進	高齢者の権利擁護の推進	高齢者の虐待防止を図るため、講演会を開催し、高齢者の権利擁護に対する意識の啓発、相談窓口の周知などを行う。高齢者虐待防止に関するパンフレットの配布。	高齢者虐待防止講演会を開催し、高齢者の権利擁護に対する意識の啓発を図った。 ・平成30年11月22日(木) 258人参加 ※高齢者虐待に係る相談件数 87件	高齢者虐待防止講演会を開催し、高齢者の権利擁護に対する意識の啓発を図る。	752	1,030	地域包括ケア推進課		139
	認知症サポーター養成	認知症に関する正しい知識を地域に広め、偏見や誤解の解消を図り、認知症高齢者の見守り・家族への支援を目的とした、認知症サポーター講座を市民対象に開催する。	認知症を理解し、支援する認知症サポーターの養成を図るため、認知症高齢者見守り事業を実施 ・開催回数 93回 ・参加延人数 3,768人	認知症を理解し、支援する認知症サポーターの養成を図るため、認知症高齢者見守り事業を実施 ・参加延人数 3,000人	1,128	1,784	地域包括ケア推進課		140
	認知症初期集中支援	認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、早期診断・早期対応として医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」の活動により、医療や介護等の関係機関連携体制の強化、支援体制の構築を図る。	認知症の人が地域で暮らし続けられるよう、早期診断・早期対応として、認知症初期集中支援チームを設置し、支援体制の構築を図った。 ・対応した対象者 67人	認知症の人が地域で暮らし続けられるよう、早期診断・早期対応として、認知症初期集中支援チームを設置し、支援体制の構築を図る。 ・対応した対象者 50人	7,561	7,532	地域包括ケア推進課		141

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(3)権利擁護の 推進	認知症地域支援・ケア向上支援	認知症に対する理解を深め、安心して生活できる環境を作るため、認知症に関する研修会の開催、認知症相談会の開催による支援を行う。	認知症月間長野駅前街頭啓発(ティッシュ・チラシ配布)9月7日実施 認知症相談会 年15回開催(相談者37人) かかりつけ医によるもの忘れ相談事業 相談者5人 認知症カフェ(オレンジカフェ)設立資金助成金事業 2か所 キャラバン・メイト及び認知症カフェスタッフ研修会8月20日開催 認知症カフェ情報交換会 11月14日開催	認知症月間長野駅前街頭啓発(ティッシュ・チラシ配布)の実施 認知症相談会 年15回開催 キャラバン・メイト及び認知症カフェスタッフ研修会の開催 認知症カフェ情報交換会の開催	3,324	3,303	地域包括ケア推進課		142
	成年後見制度利用促進	成年後見制度の相談、申立の代理等、一連の支援を行う成年後見支援センターに補助金を交付する。	成年後見支援センター補助金 9,869千円	成年後見支援センター補助金 9,115千円	9,869	9,115	地域包括ケア推進課		143
	成年後見制度利用支援	判断能力に乏しく、身寄りのない認知症高齢者に対して成年後見の市長申立て等の支援をする。	成年後見市長申立て件数 10件	成年後見市長申立て件数 12件	632	532	地域包括ケア推進課		144
5 障害者									
(1)心と社会の バリアフリー	障害者週間啓発事業	障害理解を図るため、12月の障害週間に合わせ、障害者福祉への関心を深めてもらうための講演会、セミナー等を開催する。	12月障害者週間に先だつ啓発イベントとして、10月27日に“ふくしネットフェスタ2018”を開催。	12月障害者週間に先だつ啓発イベントとして、10月6日に“ふくしネットフェスタ2019”を開催予定。	895	893	障害福祉課		145
(2)自立と社会 参加の促進	・身体障害者用自動車改造事業補助金 ・身体障害者自動車運転免許取得費助成	・身体障害者の社会参加と介護者の負担軽減のため、自動車を運転できるように、又は使用しやすいように改造するための経費に対して補助金を交付。 ・身体障害者の社会参加の促進を図るため、普通自動車の運転免許を取得した者に対して助成金を交付。	・自動車改造助成(本人運転) 12件 961,460円 ・自動車改造助成(介護装置) 9件 900,000円 ・運転免許取得助成 1件 150,000円 計 2,011,460円	・自動車改造助成(本人運転) 18件 1,638,000円 ・自動車改造助成(介護装置) 4件 400,000円 ・運転免許取得助成 1件 150,000円 計 2,188,000円	2,188	2,188	障害福祉課		146
	国補・障害者スポーツ振興補助金	長野パラリンピック冬季競技大会の開催都市として市内の障害者スポーツを振興していくため、長野市障害者スポーツ協会に対して下記事業の委託を行う ・長野市障害者スポーツ大会の開催 ・障害者スポーツ講習会の企画・運営 ・パラスポーツ普及のための体験会の企画・運営	・H30.5.20 第49回長野市障害者スポーツ大会の開催 ・障害者スポーツ講習会の実施(計39回) ・パラスポーツの体験会の開催	・R元.5.19 第50回長野市障害者スポーツ大会の開催 ・障害者スポーツ講習会の実施 ・パラスポーツ体験会の開催	2,846	1,993	スポーツ課		147
	障害者スポーツ振興補助金	長野パラリンピック冬季競技大会の開催都市として市内の障害者スポーツを振興していくため、長野市障害者スポーツ協会に対して下記の補助等を行う ・障害者スポーツ全国大会に出場する選手への激励金 ・車いすマラソン経費負担金 ・市障害者スポーツ協会補助金	・全国障害者スポーツ大会出場選手激励金の交付(5名) ・H30.4.15 第14回長野車いすマラソン大会の開催 ・長野市障害者スポーツ協会への補助金交付	・全国障害者スポーツ大会出場選手激励金の交付 ・H31.4.21 第15回長野車いすマラソン大会の開催 ・長野市障害者スポーツ協会への補助金交付	8,905	9,205	スポーツ課		148
	障害者スポーツの推進	障害者のスポーツ参加の機会拡大と健常者の障害者スポーツへの理解を促進するため、各種障害者スポーツ体験会を開催する。 ・NAGANOパラ★スポーツデー	・H30.11.17 第2回NAGANOパラ★スポーツデーの開催	・R元.11.9 第2回NAGANOパラ★スポーツデーの開催	778	2,040	スポーツ課		149
	やさしいまちづくり推進事業	点字ブロック敷設や道路の段差解消、市有施設のバリアフリー化など、緊急に改善を必要とする工事を行い、障害者や高齢者など市民にとってやさしいまちづくりを推進する。 ・障害者の外出支援のためのユニバーサルタウンマップ(ウェブ版)の作成	点字ブロック敷設工事 1箇所 階段段差識別工事 2箇所	階段段差識別工事 3箇所	1,786	1,858	障害福祉課		150
	・移動支援サービス ・リフト付きバス運行事業	・屋外での移動が困難な障害者に対して、外出しでの余暇活動等ができるようにヘルパーが付き添い支援する。 ・車椅子を利用する障害者を複数含む団体の移動を支援する。	・移動支援サービス 延利用者数:2,573人 延利用時間:18,496時間 実績額:32,621,800円 ・リフト付きバス運行事業 利用実績:166回 委託料:3,813,896円	・移動支援サービス 延利用者見込:2,600人 延利用時間見込:19,730時間 実績額見込:35,000,000円 ・リフト付きバス運行事業 利用実績見込み:186回 委託料:3,916,000円	39,628	38,938	障害福祉課		151
	市営住宅の優先入居	障害者及びその家族に対し、その優先区分を設定されて募集している住宅へ申し込みをした場合に、優先入居を行う。	専用住宅 募集戸数 9件 募集申込 3件 入居 3件	過去の募集状況を考慮して、募集団地に優先枠を設ける。	0	0	住宅課	(再掲)	152

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(3)権利擁護の 推進	・障害者虐待防止 対策支援事業	・障害者の虐待防止と権利擁護等の推進のため に専門の相談員を配置する。 ・障害者虐待防止・権利擁護のための研修、啓発 活動等を実施する。	・障害者虐待防止・権利擁護相談支援業務委託 相談件数 66件 ・障害者虐待防止・権利擁護研修業務委託 年 3回 参加延べ人数 304人	・障害者虐待防止・権利擁護相談支援業務委託 ・障害者虐待防止・権利擁護研修業務委託	6,320	6,320	障害福祉課		153
	成年後見支援体制 構築促進事業	成年後見支援センターを設置することで、判断能 力が不十分な障害者等の権利擁護体制を構築す る。	・成年後見支援体制構築促進事業 相談件数 8,091件 (内障害者 462件)	・成年後見支援体制構築促進事業	3,025	3,025	障害福祉課		154
	・障害者差別解消 支援事業	・障害者の差別解消と権利擁護等の推進のため に専門の相談員を配置する。 ・障害者差別解消のための研修、啓発活動等を実 施する。	・差別解消相談件数 相談件数 6件 ・障害者差別解消研修実績 研修実施回数 29回 参加延べ人数 1,253名	・障害者権利擁護サポートセンターの設置 ・障害者差別解消研修の実施	3,100	2,150	障害福祉課		155
	・障害者差別解消 支援事業	・障害者差別解消職員対応マニュアルの作成 ・障害者等に分かりやすい障害福祉サービスガイ ドのウェブ版の作成 ・行政文書の点訳・音訳	ホームページ用音声ファイルの作成委託 218,489円 行政文書等の点訳・音訳ファイル作成委託 199,908円	・障害者等に分かりやすい障害福祉サービスガイドのウェブ版の 作成 381,000円 ・行政文書の点訳・音訳 165,000円	473	546	障害福祉課		156
(4)コミュニケー ションのバリア フリー等	手話・要約筆記通 訳料	聴覚に障害のある方に対し、やさしい開かれた議 会とするため、手話通訳及び要約筆記を介して議 会本会議の傍聴の機会を提供する。	聴覚に障害のある方に対し、やさしい開かれた議 会とするため、手話通訳及び要約筆記を介して議 会本会議の傍聴の機会を提供 する。 H30年度 要約筆記利用者 0名 手話通訳利用者 0名	聴覚に障害のある方に対し、やさしい開かれた議 会とするため、手話通訳及び要約筆記を介して議 会本会議の傍聴の機会を提供 する。	175	185	総務議事調査課		157
	磁気ループ補聴シ ステムの導入	議会傍聴時に音声聞き取りづらい方のために、 傍聴席の床に磁気ループ補聴システムを設置(希 望者には専用補聴器を貸与)	議会傍聴時に音声聞き取りづらい方のために、 傍聴席の床に磁気ループ補聴システムを設置(希 望者には専用補聴器を貸与) H30年度 貸出件数0件	議会傍聴時に音声聞き取りづらい方のために、 傍聴席の床に磁気ループ補聴システムを設置(希 望者には専用補聴器を貸与)	0	0	総務議事調査課		158
	車椅子対応スペ ースの設置	議会傍聴席に車椅子利用者用のスペースを4席 設置	議会傍聴席に車椅子利用者用のスペースを4席設置	議会傍聴席に車椅子利用者用のスペースを4席設置	0	0	総務議事調査課		159
	議会報点字版・音 声版作成	年4回発行している議会報「ながの市議会だより」 の点字版作成を長野市障害者福祉センター内の 「長野ワーク」に委託し、約100名の聴覚障害者等 に配布。また希望者には音声データを配布する。 5月1日発行(3月定例会) 8月1日発行(6月定例会) 12月1日発行(9月定例会) 2月1日発行(12月定例会)	年4回発行している議会報「ながの市議会だより」の点字版作成を 長野市障害者福祉センター内の「長野ワーク」に委託し、約100名 の聴覚障害者等に配布。また希望者には音声データを配布する。 5月1日発行(3月定例会) 8月1日発行(6月定例会) 11月1日発行(9月定例会)2月1日発行(12月定例会)	年4回発行している議会報「ながの市議会だより」の点字版作成を 長野市障害者福祉センター内の「長野ワーク」に委託し、約100名 の聴覚障害者等に配布。また希望者には音声データを配布する。 5月1日発行(3月定例会) 8月1日発行(6月定例会) 12月1日発行(9月定例会)2月1日発行(12月定例会)	300	302	総務議事調査課		160
	議会報点字版用封 筒作成	年4回発行している議会報「ながの市議会だより」 の点字版を送付するための封筒を100部作成。	年4回発行している議会報「ながの市議会だより」の点字版を送付 するための封筒を100部作成。	年4回発行している議会報「ながの市議会だより」の点字版を送付 するための封筒を100部作成。	3	3	総務議事調査課		161
	広報ながの点字版 の出版	視覚障害がある市民に、市政情報を提供するた め、毎月1回「広報ながの」点字版を出版し、希望 者に配布する。	視覚障害がある市民に、市政情報を提供するため、毎月1回「広 報ながの」点字版を出版し、希望者に配布した。 H31年3月号(点字版)発行部数:37部	視覚障害がある市民に、市政情報を提供するため、毎月1回「広 報ながの」点字版を出版し、希望者に配布する。 随時希望を受け対応	1,906	1,799	広報広聴課		162
	コミュニケーション 支援事業	・長野市内に居住する聴覚障害者等に対して、社 会参加に必要な意思疎通を行うため手話訳者お よび要約筆記者の派遣を行う。 ・手話訳者を障害福祉課に設置する。	・長野市コミュニケーション支援事業委託契約 18,087,000円 (派遣件数:手話通訳者 894件、要約筆記者 84件) ・長野県手話通訳者・要約筆記者養成事業負担金 1,992,219円 ・長野県盲ろう者通訳介助員派遣事業及び養成研修事業負担金 1,842,642円	・長野市コミュニケーション支援事業委託契約 18,087,000円 ・長野県手話通訳者・要約筆記者養成事業負担金・長野県盲ろう 者通訳介助員派遣事業及び養成研修事業負担金 計3,705,000円	24,247	24,602	障害福祉課		163
緊急通報システム	消防局に設置するメールによる緊急通報システム (メール119)、FAXによる緊急通報システムによ り、聴覚障害者が緊急時における救急車・消防車 の要請や緊急医の問い合わせ等の照会を行う。	登録者数 FAX 119 【92名】 メール119 【23名】 119入電件数 FAX 119【3件】 メール119【0件】	登録者数 FAX 119 【92名】 メール119 【24名】	153	200	障害福祉課 消防局通信指令課	R1当初予 算額内訳 障害福祉 課 45 消防局通 信指令課 155	164	

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(4)コミュニケーションのバリアフリー等	封筒点字化事業	重度視覚障害者が市からの発送文書であることが確認できるように、封筒に「ナガノシ」と点字表示を行う。	封筒点字プレス 93,000枚 点字シール 125枚	封筒点字プレス 点字シール	582	262	障害福祉課		165
	障害者ライブラリー	視覚障害者の読書環境を充実させ、より多くの方に利用してもらえるようにするもの。 1. 点字図書・録音図書(デジター録音CD)を郵送で貸出(1人10点まで2週間) 2. 対面朗読 3. 拡大読書器の提供 4. 長野図書館だより「魯桃桜」と子どもニュース「ふれあい」をデジター録音CDに入れた「声の魯桃桜」を送付	1.平成30年度貸出数 3,735タイトル 2.対面朗読実施回数 152回 3.拡大読書器 開館時に館内に設置 4.声の魯桃桜 月1回、年12回発行	1.令和元年度貸出予定数 4,000タイトル 2.対面朗読実施予定回数 200回 3.拡大読書器 開館時に館内に設置 4.声の魯桃桜 月1回、年12回発行	9,011	9,039	長野図書館		166
6 外国人									
(1)国際化の推進	国際交流員による国際化推進活動	主に国際交流活動に従事する国際交流員1名を雇用。市民の異文化理解の推進、国際感覚の向上を図るため、学校やサークル、イベント等に出向き、国際理解講座の講師や国際交流行事の参加、ニュースレターの発行等を行う。	主に国際交流活動に従事する国際交流員1名を雇用了。市民の異文化理解の推進、国際感覚の向上を図るため、学校やサークル、イベント等に出向き、国際理解講座の講師や国際交流行事の参加、ニュースレターの発行等を行った。	主に国際交流活動に従事する国際交流員1名を雇用する。市民の異文化理解の推進、国際感覚の向上を図るため、学校やサークル、イベント等に出向き、国際理解講座の講師や国際交流行事の参加、ニュースレターの発行等を行う。	4,991	5,319	観光振興課 インバウンド・国際室		167
	国際交流員による国際化推進活動	国際交流員を雇用する際に必要な日本渡航経費等を負担する。	国際交流員を雇用する際に必要な日本渡航経費等を負担した。	国際交流員を雇用する際に必要な日本渡航経費等を負担する。	342	350	観光振興課 インバウンド・国際室		168
	国際交流員による国際化推進活動	市民の国際感覚、国際理解の向上を図るため、国際交流イベント「おお！地球人ワールドフェスタIN長野」等を開催。びんずる祭り等にも参加する。	「おお！地球人ワールドフェスタIN長野2018」を開催した。長野びんずるに参加した。	市民の国際感覚、国際理解の向上を図るため、国際交流イベント「ワールドフェスタIN松代2019」等を開催する。びんずる祭りにも参加する。	431	419	観光振興課 インバウンド・国際室		169
(2)国際交流の推進	姉妹都市交流	姉妹都市アメリカ・フロリダ州クリアウォーター市から中学生・高校生訪問団の受け入れ等の交流活動を行う。	中学生訪問団(中学生9名、引率者3名)を受け入れた。高校生訪問団(高校生4名、引率者1名)を受け入れた。	姉妹都市アメリカ・フロリダ州クリアウォーター市から中学生・高校生訪問団の受け入れ等の交流活動を行う。	1,584	1,584	観光振興課 インバウンド・国際室		170
	友好都市交流	友好都市中国河北省石家庄市から視察団・語学研修生の受け入れ等の交流活動を行う。	語学研修生3名を受け入れた。中学生訪問団(中学生12名、引率者4名)を受け入れた。友好視察団10名を受け入れた。	友好都市中国河北省石家庄市から視察団・語学研修生の受け入れ等の交流活動を行う。	5,478	5,368	観光振興課 インバウンド・国際室		171
	姉妹都市提携60周年記念事業(5年毎)	長年にわたる都市間友好交流を祝うとともに、更なる親善交流を促進するため、市長、議長、市民が相手都市を訪問し、また相手都市から代表団を受け入れる周年記念事業を実施する。		長年にわたる都市間友好交流を祝うとともに、更なる親善交流を促進するため、市長、議長、市民が相手都市を訪問し、また相手都市から代表団を受け入れる周年記念事業を実施する。	0	3,602	観光振興課 インバウンド・国際室		172
	友好都市締結35周年記念事業(5年毎)	長年にわたる都市間友好交流を祝うとともに、更なる親善交流を促進するため、市長、議長、市民が相手都市を訪問し、また相手都市から代表団を受け入れる周年記念事業を実施する。			0	0	観光振興課 インバウンド・国際室		173
	長野市国際交流推進事業補助金	市民の手による国際交流の推進を図るため、「長野市国際交流基金」を活用し、市内の国際交流団体等が行う国際交流事業に対し、補助金を交付する。	補助金を交付した。(全12件。計1,832,147円)	市民の手による国際交流の推進を図るため、「長野市国際交流基金」を活用し、市内の国際交流団体等が行う国際交流事業に対し、補助金を交付する。	2,000	2,000	観光振興課 インバウンド・国際室		174
	(3)多文化共生の推進	多文化共生に関する諸事業	在住外国籍市民の生活環境向上のための事業として生活情報等の発信等を実施する。 ・FMぜんこうじ「多言語インフォメーション」(4ヶ国語)の放送 ・生活ガイドブック「リビング・イン・ナガノ」(5ヶ国語)の発行 等	FMぜんこうじ「多言語インフォメーション」(4ヶ国語)を放送した(12回)。生活ガイドブック「リビング・イン・ナガノ」(5ヶ国語)を発行した(1回)。	在住外国籍市民の生活環境向上のための事業として生活情報等の発信等を実施する。 ・FMぜんこうじ「多言語インフォメーション」(4ヶ国語)の放送 ・生活ガイドブック「リビング・イン・ナガノ」(5ヶ国語)の発行 等	656	127	観光振興課 インバウンド・国際室	
国際交流コーナー管理運営		在住外国人の支援の場、市民と外国人との交流の場として、国際交流コーナー(もんぜんぶら座3階)を設置し、在住外国人の生活支援、情報提供等を行う。 ・日本語教室、日本文化体験講座、外国籍児童生徒学習支援、母語相談等の開催	在住外国人の支援の場、市民と外国人との交流の場として、国際交流コーナー(もんぜんぶら座4階)を設置し、在住外国人の生活支援、情報提供等を行った。 ・日本語教室、日本文化体験講座、外国籍児童生徒学習支援、母語相談を開催した。	在住外国人の支援の場、市民と外国人との交流の場として、国際交流コーナー(もんぜんぶら座5階)を設置し、在住外国人の生活支援、情報提供等を行う。 ・日本語教室、日本文化体験講座、外国籍児童生徒学習支援、母語相談を開催する。	7,174	7,176	観光振興課 インバウンド・国際室		176

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
7 HIV感染者・ハンセン病患者等									
(1)正しい知識の普及・啓発	エイズ予防講演会助成	市内小・中・高校等で講師を招いてのエイズ・性感染症の講演会を実施する場合の講師謝礼と教材用パンフレットの提供。	・講師謝礼 申し込み数:17校 参加人数:2527人(謝礼金 1校18,000円) ・パンフレット 600枚	市内小・中・高校等で講師を招いてのエイズ・性感染症の講演会を実施する場合の講師謝礼と教材用パンフレットの提供。	180	234	健康課		177
	エイズ予防啓発	・街頭等でのティッシュの配布により、エイズ予防の啓発を行う。4,000個 ・高校1年生等を対象に、リーフレットを作成し、エイズ予防の啓発を行う。5,000枚 ・情報誌に掲載し、エイズ予防の啓発を行う。	・成人式でのポケットティッシュ、コンドームの配布(8月482人、1月1325人) ポケットティッシュは前年度作成したもの、コンドームはエイズ予防財団より無料で注文(送料のみ) ・高校1年生へのリーフレット、クリアファイル配布(3,892枚)リーフレット45,360円、クリアファイル145,152円 ・情報誌(ブースカフェ)への掲載 210,000円	・成人式でのポケットティッシュ、コンドーム配布1,800個 ・高校1年生へのリーフレット配布 ・情報誌に掲載し、エイズ予防の啓発を行う。 ・中学校への絆創膏配布	633	516	健康課		178
(3)相談及び検査体制の充実	エイズ相談・検査	エイズ相談の受付(面接の場合はパンフレットを配布)また、匿名・無料で血液検査を実施する。 毎週 火曜日の午前9時～11時 毎月 第1火曜日の午後4時30分～6時50分 6月、12月 休日、夜間検査を増設	検査実施日 53日(再掲:夜間相談13日) 来所相談 497人、電話相談 330人	エイズ相談の受付(面接の場合はパンフレットを配布)また、匿名・無料で血液検査を実施する。 毎週 火曜日の午前9時～11時 毎月 第1火曜日の午後4時30分～6時50分 6月、12月 通常検査に加え、午後の検査を増設	67	103	健康課		179
(4)支援体制の充実	エイズ関連各種研修会	保健医療福祉関係者の研修会の開催や、各種研修会への参加等を通じ、支援体制の強化を図る。	実施なし	実施しない	111	51	健康課		180
8 犯罪被害者等									
支援制度の整備	市営住宅の優先入居	犯罪被害者及びその家族に対し、その優先区分を設定されて募集している住宅へ申し込みをした場合に、優先入居を行う。	実績なし	過去の募集状況を考慮して、募集团地に優先枠を設ける。	0	0	住宅課	(再掲)	181
	犯罪被害者支援センター補助金	犯罪被害者支援活動を行う民間団体に対し、犯罪被害者等基本法第22条に基づき支援を行う。認定特定非営利活動法人長野犯罪被害者支援センター	補助金交付 750,000円	補助金交付 750,000円	750	750	人権・男女共同参画課		182
9 様々な人権に関する問題									
(2)中国帰国者等	中国帰国者等援護	支援員を配置し、日常生活における各種支援を行うことで、中国帰国者等の本市への円滑な定着と自立を図る。	中国帰国者等の多く居住する地区に生活指導員を配置する 長野市生活指導員謝礼金 3人 中国帰国者のつどい 5人	中国帰国者等の多く居住する地区に生活指導員を配置する 長野市生活指導員謝礼金 3人 中国帰国者のつどい 5人	43	43	生活支援課		183
	国補・中国帰国者等援護	日本語教室・交流事業等を実施することで、中国帰国者等の本市への円滑な定着と自立を図る。	・中国帰国者等相談窓口の開設(就労相談等)就労相談員謝金 12ヶ月×1人 ・地域における中国残留邦人等支援ネットワーク事業 中国帰国者のつどい×1式 事業委託×1式 ・身近な地域での日本語教育支援事業 事業委託×1式 ・地域生活支援プログラム事業(交通費)、実施事業	・中国帰国者等相談窓口の開設(就労相談等)就労相談員謝金 12ヶ月×1人 ・地域における中国残留邦人等支援ネットワーク事業 中国帰国者のつどい×1式 事業委託×1式 ・身近な地域での日本語教育支援事業 事業委託×1式 ・地域生活支援プログラム事業(交通費)、実施事業	2,354	2,357	生活支援課		184
	中国帰国者の会補助金	本市に定着する中国帰国者により組織された中国帰国者の会の自主的な活動を通じて、帰国者相互の情報交換や親睦を図り、日常生活の不安解消や地域生活におけるトラブルを防止することで、中国帰国者の円滑な定着と自立を図る。	中国帰国者の会に対する運営補助金の交付 長野市中国帰国者の会補助金 1団体	中国帰国者の会に対する運営補助金の交付 長野市中国帰国者の会補助金 1団体	80	80	生活支援課		185
	生活支援給付	老後の生活の安定のため、老齢基礎年金を満額受給してもなお、生活の安定が図れない中国残留邦人等に対し生活支援給付を行う。また、特定中国残留邦人の死亡後に、支援給付を受ける権利を有する特定配偶者に対し配偶者支援金を給付する。	中国残留邦人生活支援給付金	中国残留邦人生活支援給付金	95,730	87,304	生活支援課		186
	国補・生活支援給付事務費	相談員を配置し、日常生活における各種相談を行うことで、中国帰国者等の本市への円滑な定着と自立を図る。	・相談員の配置他、適正な支援業務を実施するための経費 自立支援通訳派遣事業等 1人	・相談員の配置他、適正な支援業務を実施するための経費 自立支援通訳派遣事業等 1人	3,423	3,430	生活支援課		187
	市営住宅優先入居	中国残留邦人等に対し、その優先区分を設定されて募集している住宅へ申し込みをした場合に、優先入居を行う。	実績なし	過去の募集状況を考慮して、募集团地に優先枠を設ける。	0	0	住宅課	(再掲)	188

人権施策に基づく平成30年度の実績及び令和元年度の事業計画

基本方針 項目	施策の名称	事業内容	昨年度(平成30年度)の実績	今年度(令和元年度)の事業計画	当初予算額(千円)		担当課	備考	No.
					H30	R1			
(3)性的指向及び性同一性障害	性的少数者への理解促進	性自認や性的指向による差別と偏見をなくす諸施策を展開する。	・相談窓口を設置している部署の相談担当者を対象に、当事者が相談のため来所した際の対応についての知識を享受するため、研修会を開催 ・性の多様性についての記事を掲載(広報ながの12月号) ・無作為抽出による市民を対象とした性的少数者(セクシュアルマイノリティ)に関する意識と実態調査を実施(20~75歳の男女各1,000人を対象) ・市の全部局を対象に各種届出書への性別欄の有無について実態調査を実施	・市の管理職を中心に、性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の理解を深めるための研修会の開催 ・当事者等との懇談を通して、市のLGBT等に関する課題の洗い出しを行い、新たな人権施策を検討していく。	0	130	人権・男女共同参画課	(新規)	189
(7)暮らしの中に潜む様々な人権問題	介護マークカードの配布	外出や買い物等の介護にあたる際、「異性のトイレに付き添うこと」や「異性の衣類を購入すること」もあり、周囲から思わぬ誤解を受ける場合がある。介護する人、される人にやさしい社会の実現を目指して、一目で介護中であることがわかる介護マークカードを配布する。	・3件	相談及び要望があった場合に配布	0	0	地域包括ケア推進課 介護保険課	県の事業	190
	東日本大震災被災者支援	東日本大震災の影響により、被災地から避難している被災者を市営住宅などで受け入れているが、被災者が孤立することのないよう、職員が定期的に訪問する。	福島県避難指示区域からの避難者(1世帯2名)については連絡を取り合い、必要な支援を実施した。	福島県避難指示区域からの避難者(1世帯2名)については、孤立することのないよう、必要な支援を行う。	0	0	危機管理防災課		191
	自殺対策緊急強化	地域における自殺対策を強化するため、自殺に関する知識の普及啓発、悩んでいる人に気づき必要な支援につなぐゲートキーパー養成のための研修会開催、こころの健康に関する相談体制の整備を行う。	・街頭啓発(9月、3月)広報ながの(9月、3月) FMぜんこうじ(9月、3月) ・ゲートキーパー講座、出前講座受講者数 延べ975人 ・こころの相談専用電話 相談件数536件 ・総合相談会 相談件数32件	・自殺予防週間及び自殺対策強化月間における啓発 ・ゲートキーパー講座、出前講座の実施 ・こころの電話相談 ・総合相談会の実施 ・自殺対策相談支援者研修会の開催	1,594	2,779	健康課		192
	難病対策	難病患者及びその家族に対し、各種助成及び医療並びに日常生活に関する相談・指導・助言等を行い、疾病に対する不安解消を図る。	・特定医療費助成受給者数2,595人 ・医療相談 開催数5回 相談者延べ17人 ・研修交流会 開催回数24回 延べ参加者388人 ・訪問延べ155人、来所相談延べ657人、電話相談延べ840人	・特定医療費助成制度の申請受付 ・難病医療生活相談会の実施 ・難病研修交流会の実施 ・難病患者(避難行動要支援者等)の訪問	980	900	健康課		193
	第6章 推進体制								
1 推進体制と役割									
(1)国・県との関わりと市の役割	人権政策推進協議会	長野市人権政策推進協議会による関係部局間の連携 ・協議会(市長、副市長、上下水道事業管理者、教育長及び全部局長) ・幹事会(各部局の主管課長及び個人人権課題の担当課長)	・実績なし	・必要に応じ	0	0	人権・男女共同参画課		194
2 評価体制									
評価体制	人権審議会運営	人権を尊び差別のない明るい長野市を築く審議会を開催し、人権政策に関わる重要事項について調査審議する。 委員15名(H31.4.1現在)	平成30年11月8日開催 (審議事項) ・人権施策の実施状況について ・LGBTについて	令和元年7月25日開催 (審議事項) ・人権施策の実施状況について <平成31年4月1日付け委員改選あり(任期:2年)>	172	200	人権・男女共同参画課		195